

社会福祉法人 聖母会

基本理念と基本方針

「愛と真理に基づき最も困っている人々に手を差し伸べる」

援助を必要としている人々すべてに福祉活動を行ってきた創立の精神を保持し、時代の変革の中で社会のニーズに応じてその使命を果たす。

1. 利用者本人を尊重し、個々のあるべき人生の支援に努める。
2. 地域関係機関と連携し、地域福祉の向上に努める。
3. 法人の理念に基づき、質の高い職員を育成する。

聖母会理事長 塩塚 俊子

目 次

令和 6 年度振り返り	1
地域の現状と今後の方向性、施設の適正な運営について	3
全事業共通	4
地域包括支援センター事業	10
居宅介護支援事業	14
通所介護事業	15
第 1 号通所事業	16

別表目次

別表 1 月間目標と反省	19
別表 2 防災訓練実施結果	29
別表 3 研修参加者一覧	30
別表 4 自主事業報告（地域交流・地域包括・生活支援）	32
別表 5 地域包括支援センター相談受付件数（推移）	43
別表 6 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント実績	44
別表 7 居宅介護支援事業所実績	45
別表 8 通所介護事業・横浜市通所介護相当サービス事業	46
別表 9 令和 6 年度決算書類（受託施設）（介護保険施設）	48

令和6年度 横浜市原宿地域ケアプラザ振り返り

[地域交流]

- ・今年度は、昨年度発足した「とつかスマホサポーターズ」を中心とした、スマホカフェを行い毎回10～15名前後の方が参加され、ニーズの高さを改めて実感いたしました。引き続き「ICTの活用」「情報の格差」などの課題解決に向けて取り組むとともに、必要な情報が届けられるように関係機関と連携し情報発信等に努めていきます。
- ・コロナ禍以降、子どもの体力低下や不登校児の増加など、子育て環境の「孤立化」が危惧されています。引き続きSNSや広報紙等と活用しながら情報発信を行い、早期から地域とつながることができるように、支援拠点（団体）や関係機関とも連携を取りながら、地域に暮らす誰もが孤立することがないように支援を行っていきます。

[地域包括支援センター]

- ・独居高齢者、認知症高齢者や様々な課題を抱えている高齢者とその家族介護者に対し、安心して地域で自らが望む生活を切れ目なく続けることができるよう、介護予防活動の取り組み、終活に向けての情報提供と支援を行いました。また、高齢者の支援のため、地域、医療・福祉・介護、各関係機関等がチームとして支援できるよう連携を深めました。

[生活支援体制整備]

- ・横浜市が進めている『ヨコハマ地域活動・検索ナビへの登録の為に』地域活動の把握・整理を行い、団体への『ヨコハマ地域活動・検索ナビ』の適切な情報発信に努め働きかけました。地域活動も活発にうごき始め、活動の維持継続について各団体への情報提供や活動支援にも努めました。
- ・新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、町内会自治会、民生・児童委員協議会、地区社協、老人クラブ、施設や地域の各活動団体と連携する機会も増え始め、活動の場への積極的な参加や協議体等を通して新たな地域課題の把握や解決に向けた取り組み、支援を行いました。
- ・新たに小雀町でNPO法人として『サービスB事業』を開始した『ぐるーぷちえのわ』も活動4年目を迎え、要支援者の利用者数も規定の人数を確保でき、地域のボランティアや、医療法人、社会福祉法人、企業からの地域貢献活動もコーディネートする事で活動の幅も更なる広がりを見せる事ができ、経営の安定化を図る為の助成金情報等も継続的に提供することが出来ました。

[通所介護・総合事業（横浜市通所介護相当サービス）]

- ・ご利用者自身が目的と楽しみを持って、住み慣れた地域、在宅において安心して、安全に暮らすことができるよう支援いたしました。また、ご家族やケアマネジャー等に見える形で情報の共有を行い、選ばれるデイサービスになれるよう努めました。
- ・新型コロナウイルス等の感染症予防を行いながら、ボランティアや小・中学校といった地域との関係作りに努めました。

[居宅介護支援]

- ・戸塚区介護支援専門員連絡会（ケアマネット戸塚）、地域包括支援センター主催の研修に積極的に出席することで、関係機関との連携を強化することに努めました。また地域ニーズに対応するため、2月に常勤のケアマネジャーが入職し5人配置となりました。
- ・毎週の定例会議以外にも毎朝のミーティングを活用して、支援困難ケースの共有、ケー

スの課題整理と対応策について検討や確認作業を行い、専門職として技術の向上に努めました。

- ・住み慣れた地域でその人らしく生活を送ることができるように、医療、介護、福祉の関係機関との連携を図り、サービス量が低下するなかでも支援体制の確保に努めました。

令和 6 年度 事業報告

地域の現状と今後の方向性

今年は地域活動も再開され、施設利用者もコロナ前の水準まで回復傾向。近年は「子どもの体力低下」「不登校児の増加」「高齢者の外出控え」など「孤立化」が進んできている。課題解決に向けて「地域食堂」や「子どもの居場所づくり」「介護予防」「高齢者の情報リテラシーの向上」などの取り組みを、町内会・自治会、各種団体と連携し支援を行っていく。

地域包括支援センターでの年間相談件数は、令和 5 年度 1808 件に対し令和 6 年度 1920 件と増加した。コロナ禍が過ぎ数年経過した現在も、閉じこもりがちな生活の影響が続いている。そのような中で、対象者の属性のうち認知症である件数（386→473）や認知症に関する相談件数（80→139）が増えている。

今後も認知症を発症する高齢者が増えることが予想され、予防とともに認知症になっても、本人や家族が住み慣れた場所で暮らすことができる地域づくりが必要となる。

施設の適正な運営について

■公正・中立性の確保について

- ① 居宅介護支援事業所にケアプランを作成依頼する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際、「ハートページ」「戸塚区内居宅支援事業者ケアプラン対応可能件数一覧表」を活用し利用者・家族等に選択肢があることを説明し特定の事業所に偏らないように努めた。
- ② 自主事業や貸館の申込等は広報などを活用しながら、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールに沿って、公正・中立に運用を行った。また、自主事業や貸館の申込方法については、広報紙などを活用し地域住民への周知も行った。

■コンプライアンスへの対応について（事故防止、個人情報保護等）

- ① 職場研修において、倫理・サービスや個人情報保護等の研修を実施。
- ② 各部署会議や全体会議等で事故について対策も含め状況報告をし、職場全体で事故防止に取り組む姿勢をもつようにした。

【目標】：横浜市健康福祉局が設定したものになります。
(地域ケアプラザ事業実績評価マニュアルより)

全事業共通

■相談・支援

【目標】

地域の身近な相談者として、高齢者、子ども、障害児・者、生活困窮者等の対象を問わず、本人又はその家族等の相談を受けとめるとともに、適切な支援、もしくは関係機関等につなげることができている。

《必要な情報の提供》

(具体的な取組内容 1)

広報紙の発行、ホームページの更新を行っていく。また、LINE などの各種 SNS を活用し、情報発信を行なうと同時に、紙媒体での発信も並行して行っていく。（アンケートより、チラシを見て、口コミでの参加が一番多い）

(振り返り)

- ・年 6 回の広報紙の発行、LINE などの SNS を活用し情報発信を行った。
- ・子育て向けの講座についてはオンラインを活用した申し込みができるように取り組んだ。
- ・お出かけマップやカフェマップの更新も行い、幅広い世代への情報発信に努めた。

(具体的な取組内容 2)

介護支援専門員や多くの地域住民にインフォーマルサービスの情報提供を行い、地域の活動団体などへの参加につなげて行く。

(振り返り)

- ・地域活動の場に積極的に参加し『インフォーマルサービス』の周知を行った。
- ・介護支援専門員のみならず、介護老人保険施設や特別養護老人ホーム等へも情報発信を行った。

《地域ケアプラザの相談機能の周知》

(具体的な取組内容)

学校関係者や PTA の会合、子育てサークルに参加されている方へ、ケアプラザの役割などについて説明し、相談対象者は問わず、相談を受け止める機関であることを発信していく。

(振り返り)

- ・小学校の PTA 常任委員会や学校運営協議会などへ参加し、ケアプラザの役割などについて情報発信を行った。
- ・子育て支援向け事業（食堂やリトミックなど）を展開し、普段ケアプラザを利用していなかった世代へも情報発信を行う事が出来た。

《総合的な支援》

(具体的な取組内容)

月1回のフリースペースや食品配布会、食堂など、近隣の施設等と連携し、居場所作りを進めている。また、区役所や関係機関（SSWや基幹相談支援センター等）とも連携しながら、複合的な課題を抱えている世帯への支援を行っていく。

(振り返り)

- ・たいしょう食堂や食品配布会等を通じて、複合的な課題を抱えている世帯への支援を行う事が出来た。
- ・居場所作りについては、引き続き関係機関等と連携し進めていく事が求められている。（次年度も継続していく必要がある）

■地域アセスメント

【目標】

地域ケアプラザで行う全ての取組を通じて、「地域の情報（基礎情報・社会資源）」と「課題（個別・地域）」を継続的に把握・分析し、地域ケアプラザ内や関係する専門職、地域住民等でそれらの情報を共有することができている。

《「地域の社会資源」の把握》

(具体的な取組内容)

地域の活動団体や定例会などに参加し、情報の把握に努めていく。また、積極的に外部研修へ参加し、相談時には、必要な情報提供や、相談者をつなぐ事ができるよう、継続的に資源の把握、更新を行っていく。

(振り返り)

- ・地域の活動団体や定例会などに参加し、介護保険などについて講話を行う機会などが得られた。
- ・インフォーマルサービスについての情報発信やカフェマップの更新などを行い、相談者などへ必要な情報発信に努めた。

《「地域の情報」と「ニーズ」の共有》

(具体的な取組内容)

昨年度発足した、「とつかスマホサポーターズ」を中心とした、スマホ個別相談会が定期的に実施できるように、関係機関と連携し推進していく。（参加者から担い手へ）（継続）

(振り返り)

今年度より、スマホ個別相談会から気軽に参加しやすい「スマホカフェ」へと形態を変え実施する事により、参加者の大幅増につながった。引き続き「とつかスマホサポーターズ」を中心に、コロナ禍で浮き彫りになった課題解決に向けて取り組んでいく。

■住民主体の地域づくりの推進体制の構築

【目標】

地域の情報やニーズから地域支援方針及び地域支援計画を決定し、地域住民に地域ケアプラザ、区役所、区社協等の専門職が寄り添いながら、一体となって地域づくりを行う体制が構築されている。

《目指す地域像の一致》

(具体的な取組内容 1)

町内会・自治会、民生委員などの会議に参加し、情報発信を行っていく。また、第4期ハートプランの振り返りを行い、町内会・自治会、地区社会福祉協議会等と連携し行っていく事により、第5期計画策定に向けて支援を行っていく。

(振り返り)

- ・第4期ハートプラン振り返りに向けて、地域イベントなどでアンケート調査を行った。5年間蓄積したアンケート結果を参考にしながら、第4期振り返り及び第5期策定に向けて後方支援を行っていく（継続）

(具体的な取組内容 2)

学校運営協議会への参加や学校との関係づくり・連携体制を引き続き行っていく。また、児童・生徒達へも、地域づくり（ハートプランへの参画）に貢献できるような取り組みを行っていく。（継続）

(振り返り)

- ・年間を通じて、学校との関係作りを行ったことにより、今年度は複数の学校より依頼を受け福祉授業を行い、地域づくりへの参画（ハートプランやケアプラザの役割）などについて情報発信を行う事が出来た。（継続）

《課題解決に向けた働きかけ》

(具体的な取組内容)

介護支援専門員への情報発信や町内会、自治会、民生委員などの会合の場に参加し活動報告を行う事で、サービスBを広く周知していく。引き続き、区役所や区社協等と連携してサービスBへの認知度を広めて行く。

(振り返り)

- ・民生児童委員や、自治会、町内会の会合へ参加し、『サービスB』の活動報告を行った。
- ・介護支援専門員へは、広報紙を配架し、活動報告及び周知を行った。
- ・区役所や区社協と連携し、地域へサービスBの認知度を広めるよう努めた。

■社会資源の開拓・開発・支援

【目標】

地域アセスメント等を通じて把握される「地域課題」に基づき、必要となる社会資源が創出・継続・発展されている。

《担い手の発掘・育成》

(具体的な取組内容 1)

昨年に引き続き、スマホ個別相談会を定期的に行うよう支援を行っていく。また、男性が参加しやすいような事業等を行い、男性の社会参加を促していく。地域にとって必要な活動の場や、居場所作りを行い、新たな担い手の発掘・育成を行っていく。

(振り返り)

- ・男性向けに、とつかパパ楽の会（6 ケアプラザ共催事業）や男の筋トレなどの事業を行い男性の社会参加を促す事が出来た。
- ・スマホカフェや絆食堂などを通じて新たな居場所作りや、担い手の発掘・育成等を行うことが出来た。(継続)

(具体的な取組内容 2)

- ・可能な限り地域活動に参加し、安定した地域活動が継続できるよう、後方支援を行う。
- ・介護予防事業への男性参加者が少ないため、男性限定の介護予防講座を開催する。

(振り返り)

- ・可能な限り地域の介護予防活動に参加し、顔の見える関係性づくりを行った。参加者の減少しているグループには講座を開催するなど後方支援を行った。
- ・男性限定の介護予防講座の開催を行い、社会参加を促すことが出来た。

《新たな取組の創出》

(具体的な取組内容 1)

子どもから高齢者まですべての世代の方々に、自主事業等を通して、ケアプラザの周知を行っていく。地区内の企業等との連携や関係づくりも積極的に行い、新たな取り組みが創出できるよう進めていく。(継続)

(振り返り)

防災イベント（5 月）、SDG s イベント（8 月）などの自主事業を通じて、市内の企業などと連携し、ケアプラザの周知だけでなく、地域の様々な活動者が繋がったことにより活動の幅が広がり、企業や団体の新たな活動を創出することが出来た。

(具体的な取組内容 2)

地域ケアプラザの後方支援や医療法人の地域貢献活動で支援を継続しているが、地域の企業等に活動内容を知ってもらい、安定運営に向けて、地域を巻き込んだ支援体制を構築できるようにしていく。

(振り返り)

企業にサービス B 事業紹介を行った事で、企業の地域貢献活動に結びつける事はできたが、利用者確保には繋がらなかった。サービス B 事業者が安定的に活動が継続できるよう、引き続き支援を行う必要がある。(継続)

■ネットワークの構築・支援

【目標】

個別課題や地域課題の解決に向けて、住民、専門職、関係機関を含む多様な関係者（個人、組織及び団体）が、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有することができるネットワークが構築されている。

《地域住民等と専門職等とのネットワークの構築》

（具体的な取組内容 1）

今あるネットワーク（子育て連絡会、自立支援協議会、生活支援センターなど）をいかしながら地域住民と専門職の横のつながりを深め、地域全体で見守る体制作りを行っていく。

（振り返り）

- ・地域課題解決に向け、地域ケア会議等を開催し、地域住民と専門職との横の繋がりを深め、地域全体で見守る体制作りを行った。
- ・関係機関と連携・共有が円滑に出来ているため、複数の課題を抱えている世帯などへの支援を行う事が出来た。

（具体的な取組内容 2）

地域課題の解決に向けて、地域と専門職等が情報共有・連携し、新たな居場所・交流・活動の場の創出を行っていく。また、生き辛さを抱えている人、支援者等に向けての普及啓発（講座）などを積極的に行っていく。

（振り返り）

- ・地域課題解決に向け新たな居場所作りに努めたが、当事者の多様性により参加に結びついておらず、今後も継続が必要。
- ・「生き辛さを抱えている方へ」の講座を開催し、多数の支援者や地域住民の参加があった。今後も同様の取組みの必要性を感じた。

■地域ケアプラザの場を生かした支援

【目標】

子どもや高齢者、障害者等、地域に暮らすすべての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせるよう、地域ケアプラザの「場」を生かしながら、地域課題の解決に寄与することができている。

《自主事業の実施》

(具体的な取組内容 1)

- ・地域で開催されている集いの場等に参加し、ケアプラザの役割などの周知を行っていく。
- ・地域特性や地域課題を踏まえ、自主事業（居場所・交流の場作り）を企画・運営していく。
(振り返り)
- ・地域課題でもある、不登校児や生き辛さを抱えている方などへ向けての居場所・交流の場づくりは今後も継続していく必要がある。引き続き、地域で開催されている集いの場等に参加し、ケアプラザの役割などについて発信を行っていく。(継続)

(具体的な取組内容 2)

- ・子育て世代へ情報発信しケアプラザへの自主活動グループへつなげていく。
- ・男性の社会参加を促すために、男性を中心としたグループを立ち上げ、継続支援を行っていく。

(振り返り)

今年度、男性中心の「HJ トレーニング」・子育て世代向け「ヨガ教室」の2つを新たに、自主活動グループとして、発足することが出来た。引き続き、男性の社会参加を促す仕組みづくりや子育て世代への情報発信を継続して取り組んでいく。

■職員体制・育成

【目標】

全事業共通及び地域包括支援センター事業、介護保険事業の目標の達成に向けて、必要な資質を備えた職員が適切に育成・配置されており、必要に応じて職員間の十分な連携が行われている。

《職員の連携体制の構築》

(具体的な取組内容)

現状の課題を共有して、意識的にコミュニケーションをとるようにしているが、社内の電子掲示板プラスアルファで朝のミーティングを活用して情報の整理やヒヤリハットについて共有をするように取り組んでいく。

(振り返り)

- ・各専門職の業務だけでなく、5職種で業務課題や情報共有を行い、連携が出来ている。
- ・職員が欠員しているなかで、総合相談対応や自主事業の企画・運営を行い、様々な場面でコミュニケーションを密に取りながら、実践している。

■区行政との協働

【目標】

地域ケアプラザと区役所が、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有し、個別課題や地域課題の解決に向けて、効果的な役割分担のもと、協働して取り組むことができている。

《地域ケアプラザと区役所の良好な関係性の構築》

(具体的な取組内容)

地域ケアプラザと区役所がお互いに協力し合いながら、新たなサービスの創出や、既存の活動団体への支援を、互いに連携し、情報共有を行っていく。(継続)

(振り返り)

食品配布会では、生活支援課や子育て連絡会ではこども家庭支援課、高齢障害主催の「認知症イベント」・5職種会議等を通じて、区役所と互いに協力し合いながら地域が抱える問題・課題等を共有し円滑な関係性を構築していく事が出来た。

《地域福祉保健計画の推進》

(具体的な取組内容)

第5期地区別計画策定に向けて、第4期計画の振り返りを、地域連携チームと共有・連携を図っていくと同時に、引き続き第4期地区別計画の周知活動も継続して行っていく。

(振り返り)

第4期ハートプラン振り返り、第5期計画策定に向けて、地域連携チームと共有・連携を図ることが出来ている。引き続き、第4期計画振り返り及び、第5期計画策定に向けて、地区内イベントなどに参加し、ハートプランのアンケート調査を行っていく。(継続)

地域包括支援センター事業

■認知症支援事業

【目標】

認知症の人がその意思を尊重され、できる限り住み慣れたよい環境の中で暮らし続けることができる。

《認知症の人と家族が安心して過ごせる地域づくり》

(具体的な取組内容)

昨年度は、チームオレンジ活動の一環として、おしゃべりカフェのボランティアへステップアップ講座を行った。引き続き5職種で連携し推進していく。また今年度は新たに「ちくちくロバ隊」を立ち上げ、戸塚区キャラバンメイトとも連携し進めていく。

(振り返り)

「ちくちくロバ隊」を立ち上げ、5職種の強みを生かし、認知症当事者の方の参加に繋げている。また戸塚区キャラバンメイトへ完成した「ロバ隊長」をお渡しし、2月キャラバンメイト主催「認知

症フォーラム」に参加した地域住民にお配りすることが出来た。

（具体的な取組内容2）

- ・ケアプラザが最初に相談できる場所であることの周知を継続して行う。
- ・医療につながらないなど支援困難ケースは、チームアプローチを中心に行い、区役所や認知症初期集中支援チームと協働して解決にあたる。

（振り返り）

- ・町内会などの会合でケアプラザの役割について説明を行った。
- ・今年度は初期集中支援チームに繋げる支援困難ケースがなかったが、認知症の診断が出ている妻を介護している夫に対し、カフェへの参加を呼びかけ、今では夫婦で参加している。

■権利擁護業務

【目標】

- ①高齢者虐待の未然防止や早期発見および適切な対応を実現することができている。
- ②認知症等により自己の判断のみでは意思決定に支障のある高齢者等の権利や財産が守られている。

《早期発見・適切な対応》

（具体的な取組内容）

関係機関や地域からの通報を受けた場合、情報収集や整理を行い、区役所含め連携・共有し今後の方針を検討していく。また、緊急対応が必要な場合は、区役所と役割分担を決め、被虐待者及び擁護者の支援にあたる。

（振り返り）

事業所から虐待が疑われると通報を受け、包括内部で情報収集を行い検討した結果、虐待が疑われるとの判断に到り、区役所と情報共有したうえで自宅への同行訪問や入院などの対応を行った。

《高齢者虐待の未然防止及び成年後見制度の利用促進》

（具体的な取組内容）

戸塚区版エンディングノートをきっかけとして、自身の将来のことを決めておくような働きかけを、様々な機会を通して地域住民や相談者に行っていく。引き続き、消費者被害に関する普及啓発を行っていく。

（振り返り）

- ・独居高齢者に対し、自身の将来のことをイメージできるよう、エンディングノートを手渡している。
- ・区内で消費者被害が減らない現状もあり、横浜市消費生活総合センターに講師を依頼し、地域住民に対し被害防止のための講座を開催した。

■包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【目標】

ケアマネジャーと地域をつなぐための支援を行い、ケアマネジャーが、高齢者の生活全体を丸ごと（包括的）、どのような状態になっても切れ目なく（継続的）支えることができるケアマネジメントを実践することができている。

《ケアマネジャーが抱える課題や支援ニーズの把握》

（具体的な取組内容）

- ・居宅介護支援事業所訪問を継続的に行いケアマネジャーと良好な関係を保つ。
- ・ケアマネジャーが共通に抱える課題の解決に向けて必要な支援や研修会を実施し専門性を高める。
- ・介護保険改正もあり必要に応じて情報共有する。

（振り返り）

- ・居宅介護支援事業所を訪問しケアマネジャーが抱える課題等を共有した。
- ・ケアマネジャーと民生委員との研修会を開催し、資質向上の支援を行った。引き続き事業所訪問を行い、地域のケアマネジャーと良好な関係を築く。

《関係者とのネットワークの構築》

（具体的な取組内容）

居宅介護支援事業所連絡会・研修会を開催し、ケアマネジャーと地域のインフォーマルサービス組織や関係者等が顔合わせ・情報交換等が出来る場を確保する。各種連絡会に参加しにくい環境にある小規模事業所（1人ケアマネ）に適切な情報提供を行う。

（振り返り）

- ・ケアマネジャーと民生委員との合同研修会を開催し、インフォーマルサービス（介護タクシーアプリ）の活用について情報共有した。
- ・小規模事業所（1人ケアマネ）には各種研修等の情報提供を行った。

《ケアマネジャーについての地域の理解の促進》

（具体的な取組内容）

- ・地域住民や関係者等との意見交等の場における、介護保険制度やインフォーマルサービス、ケアマネジャーの役割、介護予防に関する普及啓発を実施する。
- ・ケアマネジャーと民生委員との合同研修会を開催する。

（振り返り）

- ・ケアマネジャーと民生委員との合同研修会を開催し顔の見える関係作りを行った。
- ・地域住民向けに「介護保険の利用方法についてや、ケアマネジャーの役割について」の勉強会（知って得講座）を開催した。

■在宅医療・介護連携推進事業

【目標】

個別課題や地域課題の解決に向けて、医療機関と介護事業所等（個人、組織及び団体）が、その日常の中で、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有し、一体的な支援・サービスを行うことができるネットワーク・連携体制が構築されている。

《医療や介護の関係者と連携したケアマネジメントの実践》

（具体的な取組内容）

区役所、区内包括、ケアマネット、ほーめっと、在宅医療相談室、三師会と協力し、ケアマネジャーの医療知識の向上や医療や介護をはじめとした多職種の意見交換する場としての研修を実施する。

（振り返り）

- ・在宅医療相談室と区11包括主任ケアマネジャー連絡会共催で、医療連携研修を行い「医療機関とケアマネジャーの連携」に対する知識を学び、意見交換する場を設けた。
- ・地域のケアマネジャー向けに協力医による精神障害疾患研修会を開催した。

■指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

【目標】

「高齢者が要介護状態になることをできるだけ防ぐ（遅らせる）」「要支援状態になってもその悪化をできる限り防ぐ」ために、高齢者自身が地域において自立した日常生活を送ることができるような、ケアマネジメントが実践できている。

心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割をもって生活できるよう、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアマネジメントができている。

《適切なアセスメント及び自立支援に資するケアプラン作成》

（具体的な取組内容）

介護保険制度の理解だけでなく、利用者本人と家族が介護予防に積極的に取り組む意欲を引き出せるよう、本人及び家族との信頼関係の構築に努める。

（振り返り）

介護保険サービスの利用開始時には、利用者本人だけでなく、家族の気持ちも確認しながらアセスメントを行い、信頼関係の構築に努めた。

《幅広い選択肢からの利用サービスの選択》

（具体的な取組内容）

生活支援コーディネーターや地域交流コーディネーターと連携して地域の社会資源情報を収集し、委託先のケアマネジャーや利用者に対して情報提供しインフォーマルを含めた幅広い選択肢を持つてもらえるよう努める。

（振り返り）

- ・利用者に対して、介護保険だけでなくインフォーマルサービスの情報提供を行い、幅広い選択肢が

ら自分にあったサービスを選んでもらえるよう努めた。

- ・ケアマネジャー連絡会を5職種で開催し、地域のインフォーマルサービスの情報提供を行った。

《居宅介護支援事業所委託時の関与・支援》

(具体的な取組内容)

制度改正により、介護予防ケアマネジメントの仕組みが変わる事による混乱が少なくなるよう、今まで以上に、委託先の居宅介護支援事業所や本人、家族への丁寧な説明や対応を行っていく。

(振り返り)

新規の委託ケースでは、契約やサービス担当者会議には可能な限り立ち合い、利用者本人および家族に介護保険制度について丁寧な説明に努めた。

●利用者実績（延べ人数） 単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
216	219	224	215	210	213
10月	11月	12月	1月	2月	3月
217	211	216	224	220	222

■地域ケア会議

【目標】

- ① 適切な支援に繋がっていない高齢者に対して、公的サービス、社会資源を活用し、自立に資するケアマネジメントが地域で行われている。
- ② 具体的な地域課題やニーズを吸い上げ、資源開発や地域づくりにつなげている。

《地域課題の解決》

(具体的な取組内容)

地域の共通課題については、個別ケースの積み上げ、情報収集や分析を行い、包括レベルの地域ケア会議開催を目指す。

(振り返り)

今年度は精神疾患が疑われる高齢者のケースを取り上げ、個別ケースの地域ケア会議を開催した。担当している小規模多機能事業所や民生委員に基幹支援センター、生活支援センターの機能について知ってもらおうと共に職員との顔合わせも行うことができた。

居宅介護支援事業

【目標に対する取り組み状況】

毎朝の会議では情報共有率を高め、また戸塚区介護支援専門員連絡会（ケアマネット戸塚）、地域包括支援センター主催の研修に積極的に出席することで、関係機関との連携を強化することに努め

た。また地域ニーズに対応するため、2月に常勤のケアマネジャーが入職し5人配置となった。また2024年度からの事業継続計画（BCP）の義務化対応にむけて、災害や感染などが発生した場合でも、ケアプランサービスが継続提供されるようマニュアルの整備とICTを活用した準備訓練を実施した。

●職員体制

居宅介護支援事業所管理者1名（常勤兼務）

主任介護支援専門員1名（常勤兼務）

介護支援専門員5名（常勤専従5名）

●利用者実績（単位：人）※（ ）内は介護予防プラン・介護予防ケアマネジメント受託件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
140(52)	139(56)	145(55)	142(55)	145(50)	140(52)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
146(54)	142(50)	140(50)	139(47)	134(51)	136(49)

通所介護事業

【目標に対する取り組み状況】

- ・利用者自身が目的と楽しみを持って、住み慣れた地域、在宅において安心して、安全に暮らすことができるよう支援した。また、家族やケアマネジャー等に見える形で情報の共有を行い、選ばれるデイサービスになれるよう努めた。
- ・コロナウイルス等の感染症予防を行いながら、ボランティアや小・中学校といった地域との関係作りに努めた。

●実施日数 週6日（12／29～1／3、日曜日を除く）

●提供時間 9：25～16：25

●定員 35名

●実費負担

・1割負担分

（要介護1） 706円

（要介護2） 833円

（要介護3） 965円

（要介護4） 1,097円

（要介護5） 1,231円

・食費負担 800円

・入浴加算（I） 43円／回

- ・サービス提供体制強化加算
(Ⅰ) 24円/回：介護職員総数のうち、介護福祉士割合が70%以上
- ・同一建物居住者の送迎についての減算 △101円/日
- ・送迎減算（片道） △51円/回
- ・中重度者ケア体制加算 49円/回
- ・認知症加算 65円/回
- ・科学的介護推進体制加算 43円/月
- ・ADL維持等加算（Ⅰ） 33円/月
- ・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）（令和6年5月まで）
1ヶ月の総単位数に5.9%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)
- ・介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）（令和6年5月まで）
1ヶ月の総単位数に1.2%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)
- ・ベースアップ加算（令和6年5月まで）
1ヶ月の総単位数に1.1%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)
- ・介護職員等処遇改善加算（令和6年6月より）
1カ月の総単位数に9.2%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)

●職員体制

通所介護事業・第1号通所事業（横浜市通所介護相当サービス）※職員は兼務

管理者	1名	（常勤兼務）
生活相談員	6名	（常勤兼務1名 常勤介護職兼務5名）
看護職員	5名	（非常勤兼務・機能訓練指導員兼務）
介護職員	11名	（常勤兼務5名 うち生活相談員兼務5名 非常勤兼務6名）
調理職員	6名	（非常勤6名）
運転手	2名	（非常勤）

●利用者実績（延べ人数） 単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
712	751	691	725	667	550
10月	11月	12月	1月	2月	3月
708	700	622	634	605	630

第1号通所事業

【目標に対する取り組み状況】

・自宅での生活がより充実・自立したものとなるように選択レクリエーションや運動プログラムを行った。新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を実施しながら、ボランティアや小・中学校といった地域との関係作りにも努めた。

●実施日数 週6日 (12/29～1/3、日曜日を除く)

●提供時間 10:30～15:00

●定員 35名

●実費負担

・1割負担分

(要支援1) 1,928円

(要支援2・週1回程度) 1,928円

(要支援2・週2回程度) 3,882円

・食費負担 800円

・サービス提供体制強化加算(I)

介護職員総数のうち、介護福祉士割合が70%以上

要支援1:95円/月 要支援2(週1回程度利用):95円/月

要支援2(週2回程度利用):189円/月

・同一建物居住者の送迎についての減算

要支援1:△403円/月 要支援2(週1回程度利用):△403円/月

要支援2(週2回程度利用):△807円/月

・科学的介護推進体制加算

要支援1:43円/月 要支援2(週1回程度利用):43円/月

要支援2(週2回程度利用):86円/月

・介護職員処遇改善加算(I)(令和6年5月まで)

1ヶ月の総単位数に5.9%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)

・介護職員等特定処遇改善加算(I)(令和6年5月まで)

1ヶ月の総単位数に1.2%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)

・ベースアップ加算(令和6年5月まで)

1ヶ月の総単位数に1.1%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)

・介護職員等処遇改善加算(令和6年6月より)

1カ月の総単位数に9.2%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)

●職員体制

通所介護事業・第1号通所事業(横浜市通所介護相当サービス) ※職員は兼務

管理者 1名 (常勤兼務)

生活相談員 6名 (常勤兼務1名 常勤介護職兼務5名)

看護職員 5名 (非常勤兼務・機能訓練指導員兼務)

介護職員 11名 (常勤兼務5名 うち生活相談員兼務5名 非常勤兼務6名)

調理職員 6名 (非常勤6名)

運転手 2名 (非常勤)

●利用者実績（延べ人数） 単位：人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
6 4	6 6	6 2	7 4	6 3	6 0
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
6 9	6 8	7 0	6 7	6 6	7 1

<別表 1> 月間目標と反省

1) 地域活動交流事業

- 4月の目標 ① 5/19の能登半島復興応援防災イベント実施にむけて、引き続き関係機関と連携し準備を行っていく。
② 5月より実施する、新たな事業「ちくちくロボ隊」実施に向けて、ボランティア及び5職種で情報共有を行いながら準備を行っていく。
- 反省 ① 5月のイベントに向けて、出店団体、協力企業等との調整を行うことが出来た。引き続き関係機関と連携し準備を進めていく。
② 5月からの新たな事業（チームオレンジ）の実施に向けて準備を進め、現在広報紙等で周知を行っている。
- 5月の目標 ① 5/19の能登半島復興応援防災イベント実施に向けて準備を行っていく。
② 5月の「ちくちくロボ隊」実施に向けて、引き続き周知活動を行っていく。
（令和6年度のチームオレンジ事業）
- 反省 ① 5/19のイベントでは300名近い方にご来館いただき、大きなトラブルなく開催することが出来た。お預かりした募金は、日本赤十字社を通じて石川県の災害復興義援金として寄付を行っていく。
② 「ちくちくロボ隊」第1回目を実施し8名が参加。今後定期的に開催し実施していくと同時に、ケア圏域の町内会からも問い合わせなどがあるため、どのように広げていけるか検討を行っていく。
- 6月の目標 ① 6/11の障がい学習会は就労移行事業所についての講座を行う予定であるが、引き続き参加者の声を伺いながら、講師などの調整を行っていく。
② 8/4のイベント実施に向けて関係機関と連携を行いながら準備を進めていく。
- 反省 ① 障がい学習会には7名の保護者が参加。就労移行支援事業所の役割や、実際の訓練を体験していただき、アンケートでも概ね好評価を頂く。次回以降も参加者よりお声の多かった、グループホームや自立訓練などについての講座が出来るよう調整を行っていく。
② 8/4のイベントに向け現在、東俣野支援学校の保護者や企業などのご協力なども頂き準備を進めている。引き続き主催団体と連携していく。
- 7月の目標 ① 引き続き8/4のイベント実施に向けて、関係機関と連携を行いながら準備を進めていく。
② 7/7のとつかパパ楽の会実施に向けて、5ケアプラザと連携を行いながら準備を行っていく。
- 反省 ① 8/4のイベントに関しては、多くの団体、関係機関等からの参加協力だけではなく、県や市からも後援を頂き準備を進めている。引き続き周知等を積極的に行っていく。
② 7/7のとつかパパ楽の会、当日は欠席などもあり参加者は少なめではあったが、ニーズの一つでもある水遊びを、5ケアプラザや関係機関と連携しながら実施することが出来た。
- 8月の目標 ① 引き続き8/4のイベント実施に向けて、関係機関と連携を行いながら準備を進めていく。
② 8/3「おながく広場」、8/28「知っててよかった講座」などを企画している為、一人でも多くの方に参加していただけるように周知を行っていく。
- 反省 ① 8/4のイベントでは、ワークショップやおもちゃ取りかえっこの会などのブースだけではなく、企業との連携なども行うことができ、当日は200名を超

える方に来場して頂く事ができた。

- ② おんがく広場は7組のお申込み、知っててよかった講座は現在3組のお申込みを頂いている。課題として、周知の方法や継続開催をどのように行っていくのかについては、引き続き講師の方と調整を進めていく必要がある。

9月の目標 ① コロナ禍で浮き彫りとなった高齢者のICTの課題解決に向けた支援に取り組んでいく。

- ② 必要な情報提供を相談者へつなぐことが出来るよう社会資源の把握、発信を行っていく。

反省 ① 高齢者のICTの課題解決に向けた取り組みとして、9月よりスマホカフェを地域の団体等と連携し開催し11名の参加。引き続き関係機関と連携し課題解決に向けて取り組んでいく。

- ② 社会資源の発信を含めた講座「知っててよかった講座」を実施する為、関係機関と連携しながら準備を行うことが出来た。

10月の目標 ① 複合的な課題を抱える世帯等について、複数の関係機関と連携し、一体的な支援につなげられるように進めていく。(全事業共通)

- ② 個別課題や地域課題の解決に向けて、住民、専門職、関係機関が円滑に共有することが出来るネットワークの構築を進めていく。

反省 ① 地域食堂やイベント等を通じて、一人でも多くの方に情報が伝えられるように、複数の関係機関と連携しながら後方支援及び情報発信を行うことが出来た。

- ② 個別課題、地域課題の解決に向けて、高齢者向けには、企業と連携し運転ヘルスチェックや、精神障がいの普及啓発として心療内科の先生をお招きしての講演会などを行う事が出来た。

11月の目標 ① 子供や高齢者、障がい者、地域に暮らすすべての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支えあって暮らせるよう、地域ケアプラザの「場」を活かしながら地域課題の解決を行っていく。

- ② 第4期ハートプランの振り返りを行い、町内会・自治会、地区社会福祉協議会等と連携し、第5期計画策定に向けて支援を行っていく。

反省 ① 地域課題解決のため、近隣の高齢者施設や企業、NPO法人などと連携し、スマホカフェ、親子でお芋掘り、公園遊びなどの事業を展開し、多くの方に参加して頂く事ができ一定の成果が見られた。

- ② 第4期ハートプランの振り返りに向けて、10/27 原宿松栄会主催イベントにてハートプランアンケートを実施。アンケート結果をもとに、第4期振り返り、第5期策定に向けて支援を行っていく。

12月の目標 ① 地域にとって必要となる取組の担い手の発掘・育成や支援・活動等を増やしていく。

- ② 地域で福祉・保健分野以外のサービス提供・支援・活動等を行う企業、関係機関、団体等について、福祉・保健への関心を持っていただけるような働きかけを行う。また、地域の活動等を繋げ、活動の幅を広げる等の支援により、新たな取組を創出することを引き続き行っていく。

反省 ① スマホカフェでは、10名の方がシニアサポーターとしてカフェを運営し、地域の高齢者に対しスマホの使い方について講師となり活動している。また、次年度より新たに子育て世帯向けに音楽教室(リトミック教室)の実施に向け調整を行っている。

- ② エリア内の4学年を対象とした福祉教育を関係機関や企業と連携し開催。また、大正フェスタではハートプランアンケートを実施し、多くの方に福祉・保健への関心を持っていただけるように活動を行った。

1月の目標 ① 地域ケアプラザと区役所が、日常業務において、必要な情報や各々が抱える

問題・課題等をお互いに円滑に共有することが可能な関係を構築していく。

- ② 地域で福祉・保健分野以外のサービス提供、支援・活動等を行う企業、関係機関、団体等について、福祉・保健へ関心を向けるような働きかけを行う。地域の活動等に結び付け、活動の幅を広げる等の支援により、新たな取組を創出していく。

反省 ① 昨年度作成したおでかけマップの更新を、区役所、ケアプラザ、とっとの芽事務局、子育て支援拠点等と連携し更新作業を行い、2月発行に向けて準備を行うことが出来た。

- ② 企業等と連携し、ドローン教室や知っててよかった講座（暮らし・移動編）などの講座実施に向けて調整を行うことが出来た。引き続き、各団体等と連携し、福祉保健活動に興味を持っていただけるような企画を行っていく。

2月の目標 ① 個別課題や地域課題の解決に向けて「地域活動を行う住民等」と「専門的なサービス提供を行う専門職等」が、必要な情報や課題などを共有し、ネットワークの耕地を図っていく。（居場所作り）

- ② 地域福祉保健計画の区計画及び地区別計画に基づき、地区別支援チームとして、地域課題の解決に向けて、協働して取り組んでいく。（ハートプラン）

反省 ① 次年度より、新たな会場（地区センター）にて不登校児の居場所を実施することとなり、会の代表、地区センターと打ち合わせ等を行うことができた。また、実施にあたり学校へもご挨拶に伺いご協力いただけることとなった。

- ② ハートプラン振り返り、次期計画策定に向けてアンケート調査を行った。引き続き連携チームと協働しながら、後方支援を行っていく。

3月の目標 ① 地域内の資源について十分に把握し、「相談者をつなぐために必要となる資源の特徴」などを捉え、必要な情報を継続的に更新していく。

- ② 高齢者、子ども、障害児・者問わず、本人またはその家族等の相談を受け止める機関であることを周知していく。（傾聴・知っててよかった講座など）

反省 ① 必要な情報を発信するツールとして、深谷俣野地域ケアプラザと連携しカフェマップの更新を行う。引き続き、地域ニーズに合わせた情報紙の発行を行っていく。

- ② 『傾聴ボランティア養成講座』や『知っててよかった講座』などを通じ、ケアプラザの役割などについて発信を行った。また、講座を通じての支援者同士の横のつながりづくりにもなった。

2) 地域包括支援センター事業

4月の目標 ① 事業報告書（令和5年度版）、事業計画書（令和6年度版）の内容について話し合いを行い、完成させる。

反省 ① 事業報告書、事業計画書の内容について話し合いを行い、完成させた。

5月の目標 ① 昨年度の終了予防ケースファイルの移動・整理を行う。

- ② 窓口相談用情報ファイルの整理を行う。

反省 ① 終了予防ケースファイルの移動・整理を行い、保存期間終了ファイルの廃棄準備を行った。

- ② 窓口相談用情報ファイルの整理を随時行った。

6月の目標 ① 新入職職員のオリエンテーションを着実に行う。

反省 ① 新入職職員へのオリエンテーションについては、実際の相談業務や訪問に同席することで実務に応じて行った。

- 7月の目標 ① 8月開催予定の自主事業の準備を進める。
② 引き続き新入職職員へのオリエンテーションを実務上で行う。
反省 ① 8月開催予定の自主事業を準備中。
② 新入職職員へのオリエンテーションは継続して行った。

8月の目標 ① 8/29の自主事業開催に向け、最終準備を行う。

反省 ① 8/29の自主事業開催に向け、最終準備を行った

9月の目標 ① 10/30の自主事業（講座開催）の準備・周知を行う。

反省 ① 10月開催の自主事業の準備・周知を行った。

10月の目標 ① 自主事業の開催を滞りなく行う。

反省 ① 10/30開催予定の自主事業（消費者被害防止講座）の準備を進めている。

11月の目標 ① 11月開催のケアマネジャー向け自主事業を滞りなく行う。

反省 ① 11月開催の自主事業を滞りなく行った。

12月の目標 ① 感染症予防の周知・声かけを機会があるごとに行う。

反省 ① 感染症予防に加え、ヒートショックへの対策についても注意喚起した。

1月の目標 ① 引き続き感染予防、ヒートショック対策の周知・声かけを行う。

反省 ① 引き続き感染予防、ヒートショックへの対策を相談・訪問時に周知した。

2月の目標 ① 住民向け講座の準備・開催を滞りなく行う。

反省 ① 住民向け医療講座の準備・開催を行った。

3月の目標 ① 3月開催予定の住民向け講座の準備・開催を滞りなく行う。

反省 ① 住民向け講座を滞りなく開催した。

3) 生活支援体制整備事業

4月の目標 ① 自治会や町内会の会合に出来るだけ参加し、顔の見える関係を築く。

② 地域で活動している団体等を順次訪問し、代表者の交代等無いか確認していく。

③ 東俣野町・小雀町との更なる連携を進める。

反省 ① 日程が重なり自治会や町内会の会合に出来ない所も有った為に、5月も顔の見える関係を築く。

② 継続して地域で活動している団体等を順次訪問し、代表者の交代等無いか確認して行く。

③ 東俣野町・小雀町との更なる連携を継続して取り組んで行ける様に心がける。

5月の目標 ① 4月に日程が重なり参加出来なかった自治会町内会の会合に参加していく。

② 東俣野町と小雀町の移動支援を行う。

③ 地域企業への訪問を行う。

反省 ① 4月に参加出来なかった自治会町内会の会合に参加した。5月も引き続き参加していく。

② 東俣野町と小雀町の移動支援に関わる事ができた。

③ 地域企業への訪問を行う事ができた。

6月の目標 ① 老人会の会合に定期的に参加していく。

② 7,8月の自治会町内会の予定を確認していく。

③ 東俣野町・小雀町の移動支援・移動販売を進めていく。

反省 ① 老人会会合は日程が重なり参加できなかった。

② 6月の自治会町内会会合開催日情報が間違っていたので予定を確認していく。

③ 小雀町の移動販売で理事の協力が得られなかったなので、検討する。

- 7月の目標 ① 地域のイベント日程を確認し出来る限り参加して、コミュニケーションを図る。
② 行政と連携し『地域支え合いドライバー支援講習会』を支援する。
③ 包括支援センターと連携し、地域での活動を行う。

- 反省 ① 地域のイベント日程確認を行い参加する事が出来たので、8月も引き続き行っていく。
② 地域課題解決の為に行政と連携し『地域支え合いドライバー支援』を行う事ができた。今後も継続していく。
③ 包括支援センターと連携し、介護保険申請等の講座を自治会と連携して行う事ができた。県営原宿団地や大正団地でも開催に向けて活動していく。

- 8月の目標 ① 8月も地域の催しが幾つかある為に日程の確認、調整を行っていく。
② 原宿団地自治会役員との連携を強化する。
③ 8月は暑さ対策で地域活動団体がお休みになるので業務調整を行う。

- 反省 ① 8月の地域の催しに対し日程の確認、調整を行ったが、催しが重なる事が多く計画性をもって対応していく必要性を感じた。
② 原宿団地自治会役員との連携を強化した。和みの園・けいあいの郷、行政とも連携を継続していく。
③ 8月は暑さ対策で地域活動団体がお休みになるので業務調整を行った。

- 9月の目標 ① 9月も地域の催しが幾つかある為に日程の確認、調整を行っていく。
② 原宿団地自治会役員との連携を強化する。
③ 9月は地域活動団体が活動を再開するので関わっていく。

- 反省 ① 地域の催しが幾つかあり日程調整が難しかった。
② 原宿団地自治会役員との連携を強化することができた。
③ 地域活動団体が活動を再開するため訪問したかったが調整する事が難しく参加できないところもあった。

- 10月の目標 ① 10月も防災訓練や町内会ごとのイベントがあるので、参加し連携を深める。
② 原宿団地自治会との連携を継続的に図っていく。
③ 地域の活動団体へ助成金等の情報をお伝えしていく。

- 反省 ① 10月の防災訓練や町内会ごとのイベント等に参加できた、重複していた為、調整が上手くできなかった。
② 原宿団地自治会の会合に参加でき、今後も引き続き参加し、状況を把握していく。
③ 地域の活動団体（小雀・芙蓉ハイツ老人会）へ助成金等の情報を伝えたので、今後は区役所と連携していく。

- 11月の目標 ① 民生委員主催のふれあい会食会が各地域で行われる為、支援していく。
② 11月も地域の様々なイベントが開催される為に計画的に参加する。
③ 自治会町内会の会合にできるだけ参加していく。

- 反省 ① 民生委員主催のふれあい会食会が各地域で行われたが、大きなトラブルなく行う事ができた。
② 地域の様々なイベントが重複開催された為に今後も計画的に参加する。
③ 日程の都合で自治会町内会の会合に参加できない事があった。

- 12月の目標 ① 12月も地域の大きなイベントが有るので計画を立てて参加していく。
② 年内最後の自治会町内会の会合に参加する。
③ 地域の団体との情報交換を密に行っていく。

- 反省 ① 引きつづき、地域のイベントがあるので計画を立てて参加していく。
② 業務で自治会町内会合にあまり参加する事ができなかった。

③ 今後も地域団体との情報交換を密に行っていく。

- 1 月の目標 ① 新年を迎えるので、地域活動団体等への挨拶回りなどを行う。
② 自治会町内会の会合等の日程を確認し参加する。
③ 移動販売の様子を確認しつつ事業者との意見交換を行っていく。

反省 ① 体調不良により新年の地域活動団体等への挨拶回りが遅れた。
② 自治会町内会の会合等の日程を確認し参加した。
③ 移動販売の事業者との連絡を上手く取ることが出来なかった。

- 2 月の目標 ① 自治会町内会の会合などの予定を調べ参加していく。
② 小雀町内会や『とくし丸』と連絡を取りながら移動販売の状況を確認していく。
③ 自治会町内会の後任人事等についても情報を収集していく。

反省 ① 自治会町内会の予定を引き続き確認していく。
② とくし丸の後任確認をしていく。
③ 移動支援、移動販売の引継ぎを継続する。

- 3 月の目標 ① 自治会町内会の総会等に参加し後任人事の確認等を行う。
② 移動支援制度について行政に確認し、地域と連携していく。
③ サービス B 新制度等について確認していく。

反省 ① 次月も自治会町内会の総会等に参加し、後任人事の確認等行っていく。
② 移動支援制度については、引き続き行政と連携し地域への適切な情報提供に努める。
③ サービス B 新制度等についても継続して健康福祉局に確認していく。

4) デイサービス事業

- 4 月の目標 ① 引き続き、感染対策を行う。(加湿器を継続し保湿を保つ)
② 4/8～体力測定を予定している。事故なく行う。
③ 3 月は事故報告やヒヤリハットが上がっているので職員全員が対策を把握し事故防止に努める。

反省 ① 引き続き感染対策、コロナウイルス対策を徹底した。(検温、うがい、手洗い、加湿、手指消毒等)
② 4/8(月)～予定していた体力測定は、4/23(火)～一週間行う。
4/11～4/17 選択アクティビティを事故なく行い、利用者様に楽しんで頂いた。
4/1～4/6 外出機能訓練を事故なく行った。
③ 事故報告が 2 件(4/18 現在)あった。(個人情報漏洩 1 件、利用者様が一人で外出 1 件)

- 5 月の目標 ① コロナウイルス感染が続いているので、感染対策を引き続き行っていく。
(マスク着用の声かけを行っていく)
② 節句週間(4/29～5/4)・母の日週間(5/6～5/11)を事故なく楽しんで頂く。
③ 5 月に入ると暑くなるので、熱中症対策、食中毒対策を行う。
④ 新規利用者が増えてきているので、利用者の行動を把握しながら事故なく利用して頂く。

反省 ① 引き続き感染症対策を行った。コロナウイルスが 5 類に移行した為、それに伴った感染対策を徹底した。
② 節句週間、母の日週間共に事故なく終える事が出来た。
③ 熱中症対策(水分補給)、食中毒対策を行った。

- ④ 新規利用者が増えたため、利用者の行動を把握し事故なく利用して頂けた。

- 6月の目標 ① 熱中症、食中毒対策を行う。
② 父の日週間(6/10～15)を事故なく楽しんで頂く。
③ コロナウイルス感染が拡大した場合は、コロナ対策を行う。

- 反省 ① 熱中症、食中毒対策を行った。利用者、職員共にこまめな水分補給と声掛けを行い、定時のトイレ消毒、食事前おやつ前などの手洗いを徹底した。
熱中症や食中毒についての知識をクイズ方式で利用者と共有した。
② 父の日のプレゼント作りを事故なく行う事ができた。完成品をお渡しすると皆様喜ばれていた。
③ 厚生労働省の指示指導に従い感染予防対策を行った。

- 7月の目標 ① 今まで通り感染症対策を行う。(コロナ・インフルエンザ・食中毒等)
② 梅雨に入り蒸し暑い日もあるので水分摂取を促し脱水症状に気を付ける。
③ 七夕週間と選択アクティビティ週間を事故なく行う。

- 反省 ① コロナウイルス増加傾向の為、マスクの徹底、換気、消毒を引き続き行った。
食中毒にも気を付けている。
② 蒸し暑くなっている所以利用者に対し水分補給を促し、職員共に体調管理に気を付ける事ができた。
③ 七夕週間、選択アクティビティ週間を事故なく行う事ができた。

- 8月の目標 ① 引き続き、感染症対策(コロナ・インフルエンザ・食中毒)を行う。
② 熱中症対策(水分・室内温度等)を行う。
③ 夏祭り週間 8/5(月)～8/10(土)を事故なく行う。

- 反省 ① 引き続き感染症対策(コロナ・インフルエンザ・食中毒等)に留意した。
② 熱中症対策として職員による室温調整と利用者への水分補給のアナウンスを行った。
③ 夏祭り週間 8/5～8/10は事故無く終えることが出来、利用者様にも楽しんで頂けた。

- 9月の目標 ① 暑さが続いている為引き続き熱中症対策を行う。
② 引き続き感染症対策を行う。
③ 敬老週間 9/10(火)～9/16(月)を事故無く行う。

- 反省 ① 暑さが続いているため引き続き熱中症対策・水分補給など行った。
② 引き続き感染症対策を行った。コロナ感染者が発生した為お知らせを配り感染拡大予防に努めた。
③ 敬老週間 9/10(火)～9/16(月)を事故無く行った。

- 10月の目標 ① 引き続き感染症対策(コロナ・インフルエンザ・食中毒)を行う。
② 寒暖差が始まる頃なので体調管理などに気を付ける。
③ 10/8(火)～10/14(月)の外出機能訓練を事故なく行う。

- 反省 ① コロナ感染が落ち着いてきたが、インフルエンザやマイコプラズマ肺炎が流行っているので、今まで通り手洗い・うがい・検温や消毒など行っている。
② 朝晩の寒暖差が激しく衣類などの調整をしながら過ごしていただいた。
③ 10/8～10/14の外出機能訓練と10/5～10/11の運動会週間は事故なく行うことが出来た。

- 11月の目標 ① 引き続き、感染症対策を行う。コロナ感染症に加え食中毒やインフルエンザ・マイコプラズマ肺炎が流行っており、ノロウィルスのシーズンになるのでガウン等の備品を確認する。
② 体力測定週間を予定しているので事故なく行う。
③ 11月になり夕方は暗くなるので送迎車のライト点灯や、懐中電灯など準備

し安全に送迎を行う。

反省 ① うがい、手洗い、消毒（通常の消毒に〈14時・17時〉追加で12時の消毒を行い、感染症対策を行っている。

② 体力測定週間は事故なく行うことが出来た。

③ 夕方の送迎時のライト点灯を行い、送迎車内の懐中電灯が常備されているかの確認を行い、すぐ使える場所に常備した。

12月の目標 ① コロナ感染症に加え食中毒やインフルエンザ・マイコプラズマ肺炎が流行しているので、引き続き、感染症対策を行う（手洗い、消毒、うがい等）。

② クリスマス週間を事故なく行う。

③ 11月に転倒事故が2件あったので、事故対策を実行し転倒事故が発生しない様対応する。

反省 ① インフルエンザ・コロナウイルス感染等が流行っているため感染対策を引き続き行い、利用者と職員に声掛けを行っている。うがい・手洗い・通常の消毒〈14時・17時〉に12時の消毒も行う）また送迎車内でも手指消毒を実施している。

② クリスマス期間中であるが、引き続き事故なくレクリエーションを行う。

③ 12月転倒事故1件、ヒヤリハット2件が発生した。今後も事故対策を実施し、事故を起こさないように対応していく。

1月の目標 ① コロナウイルス・インフルエンザの感染が増加傾向にある為、引き続き感染対策を行う。

② 利用者・職員の体調管理を行う。

反省 ① コロナウイルス・インフルエンザの感染が増加傾向にある為、引き続き感染対策を行った。（室内・トイレ・送迎車消毒等）

② 利用者・職員の体調管理を行った。（温度調節・加湿器等）

2月の目標 ① 引き続きコロナウイルス・インフルエンザ等の感染症対策を行う。

② 節分週間等事故なく行う。（1/28～2/3）

反省 ① コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症対策を引き続き行った。

② 節分週間は事故なく行い、利用者にも楽しんでいただけた。

3月の目標 ① 引き続き体調管理や食中毒、感染症対策（消毒等）を行う。

② 2/25（火）～3/3（月）ひな祭り週間を事故なく行う。

③ 3/17（月）～3/22（土）外出機能訓練（天候次第）を行う予定。

反省 ① 引き続き体調管理や食中毒、感染症対策（消毒等）に留意し、定時の消毒、体調管理への注意喚起を行った。

② ひな祭り週間を事故なく行う事が出来た。

③ 外出機能訓練は天候不良で数日行う事が出来なかった。

5）居宅介護支援事業

4月の目標 ① 介護報酬改定の内容を把握し、基準の順守に努める。

② 過去書類の整理を行うとともに、今後の書類管理の方法を明確化する。

反省 ① 介護報酬改定の内容を把握し、会議等で情報共有し、基準の順守に努めた。

② 過去書類の整理を行った。保存期間内の書類については、データー保管とし保管場所を定め保管した。

5月の目標 ① ノロウイルス感染症やコロナ感染症の感染対応に努め、モニタリング訪問などで注意喚起を行う。

② 介護報酬改定に伴い、各事業所における加算等の変更が見込まれるため、請求並びに予定表の作成において情報管理に努める。

- 反省 ① ノロウィルス感染症やコロナ感染症の感染対応に努め、モニタリング訪問などで注意喚起を行った。
- ② 介護報酬改定に伴い、各事業所における加算等の変更が見込まれるため、請求並びに予定表の作成において情報管理に努めた。
- 6月の目標 ① 食中毒などが発生しやすい時期なので食材管理や衛生管理の注意喚起をする。
- ② 引き続き、介護報酬改正に伴い変更があるため、新制度の理解について内部共有をして、新任職員の業務習熟度を高めていく。
- 反省 ① モニタリング訪問時に食材管理や衛生管理の注意喚起を行った。
- ② 介護報酬改正に伴い新制度の理解について居宅会議内で内部共有を行った。また、他法人との事例検討会内でも介護報酬について話し合いを行い、他法人のケアマネジャーとも理解を深めることができた。
- 7月の目標 ① 引き続き、熱中症や脱水、食中毒等の予防の声をモニタリング時のリーフレット配布や電話等で行っていく。
- ② 新型コロナウイルス、溶連菌等感染症が流行しているため、利用者に注意喚起をするとともに職員も体調管理に気を付ける。
- 反省 ① 引き続き、熱中症や脱水、食中毒等の予防の声をモニタリング時のリーフレット配布や電話等で行い注意喚起に努めた。
- ② 新型コロナウイルス、溶連菌等感染症が流行している為、利用者に注意喚起をするとともに職員も体調管理に留意し対策に努めた。
- 8月の目標 ① 本格的に夏に入る為、熱中症や脱水にならないよう、体調や居住環境の確認を行い、リーフレットの配布と共にエアコンの使用等を声掛けする。
- ② 新型コロナ等、感染症が引き続き流行している為、体調管理や感染症対策を徹底し予防に努める。
- ③ 介護保険負担割合証の更新時期である為、滞りなく確認を行い適切な給付管理に努める。
- 反省 ① 熱中症予防のためモニタリング等自宅訪問時に、リーフレット配布をするとともにエアコンの使用等促しに努めた。
- ② 新型コロナ等、感染症が引き続き流行している為、感染症対策に努め予防を行った。
- ③ 介護保険負担割合証の更新時期である為、滞りなく確認を行い適切な給付管理に努めた。
- 9月の目標 ① 10月の実施地指導監査に向け日々の業務を再確認し、適切な居宅介護支援の実施に努める。
- ② 引き続き、熱中症とコロナ感染症等の予防に努める。
- ③ 気温の変化に伴う体調の管理に努める。
- 反省 ① 10月の実施の運営指導に向け日々の業務を再確認し、適切な居宅介護支援の実施に努めた。
- ② 引き続き、熱中症予防とコロナ感染症等の予防に努めた。
- ③ 気温の変化に伴う体調の管理に努めた。
- 10月の目標 ① 新型コロナの定点当たりの患者数が増え感染拡大しているので、感染症の予防及びまん延の防止のための措置【条例24条の2】と業務継続計画の策定等【条例22条の2】について周知徹底をし、感染症予防と拡大防止を図り、サービスを継続的に提供できるようにする。
- ② 利用者アンケートの配布や集計を滞りなく行っていく。
- 反省 ① 感染症の予防及びまん延の防止のための措置と業務継続計画の策定等について居宅内で話し合いができなかった。そのため今後、会議で話し合いの時間を設けていく。

- ② 利用者アンケートの配布や集計を滞りなく行っている。引き続きアンケートや集計を行っていく。
- 1 1月の目標 ① 新型コロナやインフルエンザ等の感染症の流行に留意し、利用者の体調確認に努める。
- ② 例年入院や施設入所が増える時期の為、年度目標達成に向けた給付管理数の維持に努める。
- 反省 ① 新型コロナやインフルエンザ等の感染症の流行に留意し、利用者の体調確認や感染症発生時の対応に努めた。
- ② 例年入院や施設入所が増える時期のため年度目標達成にむけた給付管理数の維持に努め、新規案件の受入れも行った。
- 1 2月の目標 ① 引き続き感染症の流行に留意し、利用者の予防接種状況の確認や体調管理に努める。
- ② 年末年始の対応に備え、利用者や業務の情報共有を行う。
- ③ 年度内の新規職員採用を目指し準備に努める。
- 反省 ① モニタリング訪問前の連絡などにより体調確認を行い、未然に感染者との接触を防ぎ連絡調整をすることが出来た。
- ② ケアマネ間で業務内容を共有し、助け合いながら業務を遂行した。
- ③ 新規の希望者は無かったが、引き続き採用に向け準備に努める。
- 1 月の目標 ① 感染症予防の呼びかけなど注意喚起し体調変化に留意したモニタリングを行う。
- ② ケアマネ毎の給付人数の共有を継続し、予算目標の達成に努める。
- 反省 ① 感染症予防の呼びかけなど注意喚起し体調変化に留意したモニタリングを行った。
- ② ケアマネ毎の給付人数の共有を継続し、予算目標の達成に努めた。
- 2 月の目標 ① 感染症が蔓延しているため、体調確認や注意喚起をモニタリング時に行う。
- ② 年度末の予算目標達成に向けた給付管理に努める。
- ③ 新規職員の入職に伴い、滞りなくケース引継ぎや業務の伝達を行えるよう努める。
- 反省 ① 感染症が蔓延しているため、体調確認や注意喚起をモニタリング時に行った。
- ② 年度末の予算目標達成に向けた給付管理に努めた。
- ③ 新規職員の入職に伴い、滞りなく業務の伝達を行い、ケースの引継ぎは時間が重ならないよう居宅職員が連絡を密にとりながら行った。
- 3 月の目標 ① 引き続き感染症予防のため体調確認や注意喚起をモニタリング時に行う。
- ② 給付人数の増減を把握し年度内の予算目標の達成に努める。
- ③ 引き続き新規職員のケース引継ぎや業務の伝達を滞りなく行うよう努める。
- 反省 ① 引き続き、感染症予防のため体調確認や注意喚起をモニタリング時に行った。
- ② 給付人数の増減を把握し年度内の予算目標の達成に努めた。
- ③ 引き続き、新職員にケース引継ぎや業務の伝達を滞りなく行った。
- また、生産性向上の取り組みとして ICT の活用により業務負担を軽減できるよう新職員用のモバイルデバイスを準備した。

<別表 2> 防災訓練実施結果

日時	場所	参加者	内容
令和6年6月22日(土) 10:00～11:00	多目的ホール	戸塚原宿住宅住民、ケアプラザ職員、横浜市住宅供給公社職員、戸塚消防署大正消防出張所所長	大正消防出張所飛塚所長様から、防災のための備えについて講義。大地震等に備えは最低でも3日分、できれば7日分が必要。熱中症予防について注意喚起がある。
令和6年6月22日(土) 14:10～14:50	デイルーム 崎陽軒側の避難通路	デイ利用者、デイ職員	ケアプラザ建物から崎陽軒側の通路までの避難誘導訓練と原宿地域ケアプラザのデイサービス利用者の避難訓練と合同訓練を実施。 中庭での水消火器訓練を実施。
令和6年10月16日(水) 14:00～15:30	デイルーム 崎陽軒側の避難通路	デイ利用者、デイ職員	ケアプラザ建物から崎陽軒側の通路までの避難誘導訓練と原宿地域ケアプラザのデイサービス利用者の避難訓練と合同訓練を実施。 中庭での水消火器訓練を実施。
令和6年10月16日(水) 14:00～15:30	多目的ホール	戸塚原宿住宅住民、ケアプラザ職員、横浜市住宅供給公社職員、戸塚消防署大正消防出張所所長	大正消防出張所飛塚所長様から、防災について、緊急通報と住宅防火対策、また大地震の備えとして、簡易トイレの準備について講義。
令和6年8月23日(金)	事務所	ケアプラザ事務所職員	元禄型関東地震により、自施設はどのような被災状況になるか、施設内被害状況を想定し、福祉避難所情報共有システムを使用して、事務局（市社協）へ報告をする訓練を実施。
令和6年7月14日(金)	事務所	ケアプラザ事務所職員	元禄型関東地震により、自施設はどのような被災状況になるか、施設内被害状況を想定し、福祉避難所情報共有システムを使用して、事務局（市社協）へ報告をする訓練を実施。蓄電池の活用訓練と災害時優先携帯電話の発信訓練

<別表3>【施設外研修】

デ介・デ相・デ看・デ調＝デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介＝居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ＝地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予＝地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ＝生活支援コーディネーター

	事業計画 有無	研修会名	研修内容	主催者	参加者
1	有	ケアマネット戸塚	ケアプラン作成の留意点について	ケアマネット戸塚	居介・山崎
2	有	ケアマネット戸塚	ケアプラン作成の留意点について	ケアマネット戸塚	居介・有我
3	有	地域包括職員研修	ケアプラザとは、地域包括とは	横浜市	包看・糸賀
4	有	地域包括職員研修	介護予防支援業務、ケアマネジメント業務について	横浜市	包看・糸賀
5	有	地域包括職員研修	社会の変化と生きづらい人々の増加について	横浜市	包看・糸賀
6	有	深谷俣野CP包括研修	ケアマネジャーが知っておきたい薬物療法	深谷俣野CP	居介・山崎
7	有	深谷俣野CP包括研修	ケアマネジャーが知っておきたい薬物療法	深谷俣野CP	居介・安齋
8	有	地域包括職員研修	アドボカシーについて	横浜市	包看・糸賀
9	有	ケアマネット戸塚	ICFによるアセスメントについて	ケアマネット戸塚	居介・安齋
10	無	介護分野における業務改善	生産性向上について	株式会社TRAPE	デ相・内野
11	有	ケアマネット戸塚	ICFによるアセスメントについて	ケアマネット戸塚	居介・山崎
12	有	新任就労予定CM研修	ケアマネジャーとして知っておきたいこと	戸塚区包括主任CM連絡会	居介・安齋
13	有	BCP研修	BCPの減算、運営基準について	NDソフトシステム	居介・山崎
14	有	ケアマネット戸塚	ICFによるアセスメントについて	ケアマネット戸塚	居介・有我
15	有	新職員オリエンテーション	法人の理念等について	聖母の園	地サ・武内
16	有	福祉の仕事	太田裕紀 福祉の仕事、なじむ力、なじませる力	ウイリング横浜	デ介・太裕
17	有	ケアマネット戸塚	行政サービスについて	ケアマネット戸塚	居介・有我
18	有	ケアマネット戸塚	行政サービスについて	ケアマネット戸塚	居介・安齋
19	有	高齢者虐待防止と認知症ケアの知識	高齢者虐待防止法が示す虐待行為の類型などについて	トルトイベントスター事務所	デ相・内野
20	有	日本カトリック高齢者施設協会全国大会	人生の最期まで穏やかに過ごせるために 小澤竹俊医師	日本カトリック高齢者施設協	デ相・内野
21	有	障害者制度の理解について	障害福祉サービスと介護保険サービスの関係	原宿CP居宅	居介・山崎
22	有	障害者制度の理解について	障害福祉サービスと介護保険サービスの関係	原宿CP居宅	居介・有我
23	有	アセスメント技術向上研修	アセスメントについて	ウイリング横浜	デ介・山本
24	有	介護支援専門員専門研修課程1	認知症のある方のおよび家族を支えるケアマネジメントなど	ウイリング横浜	居介・安齋
25	有	地域共生社会の実現	地域共生社会の実現に向けた事例検討会など	横浜市	生コ・瀧澤
26	有	認知症高齢者への対応	高齢者の特徴、コミュニケーションの基本等	ケアマネット戸塚	居介・安齋

＜別表３＞【施設外研修】

デ介・デ相・デ看・デ調＝デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介＝居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ＝地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予＝地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ＝生活支援コーディネーター

27	有	管理者のためのメンタルヘルス	管理職自身のストレスマネジメント等	横浜市社協	デ介・江藤
28	有	サービスB新制度対応研修	サービスB等補助金申請システムと操作について	横浜市	生コ・瀧澤
29	有	総合事業のガイドラインについて	介護保険制度の見直し意見等について	横浜市	生コ・瀧澤
30	有	BCP研修シュミレーション研修	防災・災害対応マニュアルとBCPの位置づけなど	横浜市社協	デ相・佐川
31	有	処遇改善加算の解説	処遇改善の区分の確認、組織づくり	NDソフトシステム	デ相・佐川
32	有	BCP研修シュミレーション研修	防災・災害対応マニュアルとBCPの位置づけなど	横浜市社協	所長・葛西
33	有	第二回他法人事業所共同事例検討会	事例検討会 介護保険外施設入所中ケアマネジメント	汲沢地域ケアプラザ	居介・山崎
34	有	第二回他法人事業所共同事例検討会	事例検討会 介護保険外施設入所中ケアマネジメント	汲沢地域ケアプラザ	居介・安斎
35	有	アングーマネジメント研修	「怒り」の感情とよりよく付き合う工夫を学ぶ	ウイリング横浜	デ介・宇佐
36	有	ケアプラン点検について	横浜市ケアプラン点検の特徴、点検事業の実際について	ケアマネット戸塚	居介・安斎
37	有	ハラスメントについて	ハラスメントの基礎知識と対応について	ケアマネット戸塚	居介・安斎
38	有	新職員オリエンテーション	聖母会の歩み、規定等	聖母の園	デ介・貞光
39	無	傾聴ボランティア養成講座	自己紹介、相づちの効用、座る位置、共感等	原宿ケアプラザ	地サ・武内
40	有	「多職種交流会～多職種の輪」	訪問診療の導入時における外来医療機関との連携	ケアマネット戸塚	居介・山崎
41	無	科学的介護システム説明会	令和6年度版フィードバック、グラフの見方、活用方法	NDソフトシステム	デ相・佐川
42	有	ケアプランデータ連携システム	介護業務効率化、生産性向上システム先進事例紹介	NPO法人 タダカヨ等	居介・青山
43	有	身体拘束防止研修	身体拘束とはどのようなものか、身体拘束の弊害とは	NDソフトシステム	居介・有我

令和6年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域交流)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 傾聴ボランティア養成講座	地域住民対象 独居の高齢者、日中独居の方、施設入所者、高齢者サロン、介護をしているご家族の方を対象にした傾聴活動ボランティアの育成を目的とする。 今年度は年1回（全4回）実施	1月19日 2月 5日 2月12日 2月19日 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 あったまり場	戸塚区こころの健康福祉ネットワーク事業 こころの病のある方、家族、地域住民対象 第4月曜日実施（12月のみ第2月曜日） 今年度は懇談を中心としたプログラムとして開催。	原則毎月 第4月曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 子育て連絡会	保育園、主任児童委員、子育て支援拠点、区役所、子育てサークル、子育て支援者、高齢者施設等対象 子育て支援に関わる関係機関同士のネットワークの構築、ダブルケア、虐待防止などに対応していくため、子育て分野、高齢者支援分野との連携も目的としている。 今年度も3回の公園あそびを予定している。	5月30日 9月26日 2月26日 計 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 障がい学習会 「地域であたり前に豊かに暮らしていくために」	障害のあるこどもの保護者同士の情報交換や研修を通し、地域に必要とするサービスなどの開発や関係機関とのネットワーク作りにつなげる。 不定期開催。 ぐるーぷちえのわ共催。 今年度は、「就労移行支援事業所」について実施	6月13日 計 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 ボランティア総会	聖母の園、横浜市原宿地域ケアプラザ、横浜市深谷俣野地域ケアプラザで活動するボランティア対象 (コロナウイルス感染症拡大防止の為中止)	中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主 おんがく広場	利用者アンケートなどより以前からリトミックのような講座を実施していただきたいとのご意見を受け今回初開催。 リズム遊び、楽器遊び、絵本の読み聞かせなど織り交ぜ0歳～参加できる講座	8月3日

令和6年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域交流)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 スマホカフェ	地域のニーズを把握し前年度から地元の企業の協力を仰ぎ開催。次年度も引き続きリビングラボと連携し実施。 令和6年度発足した「とつかスマホサポーターズ」と連携しスマホカフェを開催（参加者から担い手へ）	9月から開始 9月7日 10月5日 11月2日 12月7日 2月1日 3月1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 おしゃべり カフェ	チームオレンジ事業 地域住民の居場所の1つとして、平成30年度からケアプラザにてカフェをオープンした。新たなボランティアの担い手を創出させる狙い。 (1回25名前後の参加)	第1木曜日 (1月のみなし)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主 能登半島復興防 災イベント	令和6年1月に起こった能登半島地震への復興応援イベントと地域住民向けへの防災について啓発イベント 能登半島製品の販売、障がい者団体のパンなどの販売 防災関連企業（防災用品の展示）などと連携し開催	5月19日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 たいしょう食堂 フードドライブ	フードロスの一環の取組として3施設同時開催。お預かりした食品はたいしょう食堂（食品配布会）にて活用。 広報紙などで周知を行い、徐々に地域に浸透されてきている。	随時開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 たいしょう食堂	子どもから高齢者までどなたでも参加できる食堂を令和元年度から地区センターを会場として開催。 今年度会長、会計等役員が交代し、新体制として再スタート年4回の内2回は、にこにこマルシェと同日開催となり、新たな参加者などへ周知が進んでいる	5月 6日 7月27日 11月24日 1月25日 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 たいしょう食堂 食品配布会	大正地区センターのお部屋をお借りし、大正地区の方を対象とした地域食堂食品配布会を開催することとなった。今年度は年4回実施。	6月14日 9月13日 12月13日 3月14日 全4回

令和6年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域交流)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 にこにこマル シェ@たいしょ う	地域の子どもを中心としたフリーマーケットの開催を通じ、母親同士の交流、地域の公共施設の役割などを知っていただくことを目的として、年2回開催。毎回出店者20組、次年度以降も年2回程度開催予定。	5月 6日 11月23日 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 布絵本・卒園制 作作品展示	11月の読書推進月間に合わせて実施。 今年度は、もみの木園作成の布絵本の展示会を1か月間実施。 令和5年度計画では、秋の大正地区図書スタンプラリーを計画していたが、布絵本展示会に企画内容を変更。	11月1日～11月30日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フリースペース SORA	戸塚区こころの健康福祉ネットワーク事業 近年、不登校の子供が増えてきている現状を踏まえ、ケアプラザの貸室をフリースペースとして開放し、地域と顔の見える関係性を構築していく事を目標	毎月第4火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 とつかパパ楽の 会	区内6ケアプラザでの共催事業 区域で父親育児支援事業を実施することにより、課題の抽出やニーズに把握を行っていく。 ダブルケアの一環として実施 (原宿担当は5月と7月)	5月12日 7月7日 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 海のお祭り	NPO法人 湘南クリーンエイドフォーラムとの共催事業 夏休み子供向けイベント 海のないまちから海をまもう、知ろう、楽しもうをテーマに、ワークショップや海ごみの現状などについて知っていただくことが目的	5月19日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主 ドローン×プロ グラミング教室	企業間連携事業 近年、小学生よりプログラミング教室が始まり（学校では実際に体験するということが難しい現状）、よりパソコンなどのデジタルに実際に触れて体験することが一番の目的	2月2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生き辛さを抱えている方へ	戸塚区こころの健康福祉ネットワーク事業 心療内科の先生をお招きし、心の傷にどう気づき、どう癒すのかなどについて講話	8月20日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主 運転ヘルス チェック	企業間連携 エリア内は山坂が多く移動に車を使用する方も多く、自分の現状を客観的に知ることにより、一日でも長く運転でき自分らしい生活がおくれるようにという目的で開催。	9月22日

令和6年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ (地域交流)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主 マネーライフプランと0歳からの性教育	近年0歳児からの性教育が注目されていることや、幼少期からのライフプランの重要性が増してきている。父親にも興味をもち参加を促すことを目的として開催	9月22日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主 ちくちくロバ隊	チームオレンジ事業 認知症マスコットキャラクター「ロバ隊長」を作成し、戸塚区キャラバンメイト連絡会や、ケアプラザで行う傾聴ボランティア養成講座の受講者へ作成した「ロバ隊長」をお渡しする活動	毎月第4金曜日 (8月のみお休み)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主 知っててよかった講座 暮らし×移動編	企業間連携 地域住民対象 エリアは山坂が多く、介護状態になった際などに安心して外出できるよう、様々な取り組みの紹介やUDタクシーなどがあることを地域住民に知っていただくことが目的	2月3日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主 知っててよかった講座 暮らし×仕事編	企業間連携 地域住民対象 戸塚区こころの健康福祉ネットワーク事業 障がいがあっても、自分らしく暮らすをテーマに、当事者の方の講和や、就労移行支援事業でできる事などについて、地域住民、支援者などに知っていただくことが目的	2月10日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育	学校連携 地域ケアプラザのこと、地域福祉について小学校と連携し開催 今年度は、小学校2年生（2クラス）、6年生（デイ交流）、人権教育として車いす体験（3年生～6年生）	7月16日 11月29日 12月6日 12月11日 12月13日 2月27日

令和6年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくり ステーション 「こすずめ健康 ライフ」	身近な場所での介護予防活動の存続を目的として、地域の 会場で行われている体操、脳トレ等の活動グループに対し て後方支援を行った。 今年度は、5月27日に三味線体操を実施した。	毎月2回 第2・4月曜日 全23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくり ステーション 「GOGO健康クラ ブ」	身近な場所での介護予防活動の存続を目的として、地域の 会場で行われている体操、脳トレ等の活動グループに対し て後方支援を行った。	毎月2回 第2・4水曜日 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さざん花の会	地域の会場で行われている介護予防活動グループが自主的 な活動が継続できるよう支援を行った。 今年度は5月14日と5月28日に公開講座（キレイな歩き方教 室、笑いヨガ）を実施した。	毎月2回 第2、4火曜日 全22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
原宿コグニサイ ズの会	地域の高齢者を対象に、健康促進、認知症予防を目的とし 「健康体操」や「コグニサイズ」を行った。	毎月1回 第2土曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 楽しくトレーニ ングしよう会	保健活動推進員と共催で、脳トレーニングと体操（ハマト レ、はまちゃん体操）を地域の高齢者に向けて開催した。 11月には認知症予防の音楽療法も併せて開催。	毎月1回 第4日曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 GOGO体操	介護予防普及啓発事業で行った講座のOB会として、令和2年 度より活動開始。 会との共催により、体操講師によるストレッチ・筋力ト レーニングを中心とした運動を実施。	毎月2回 第2・4火曜日 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防講座 「音楽療法」	認知症予防を目的として、専門の講師に依頼し音楽療法を 実施。	11月24日

令和6年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防講座 男の筋トレ	講座参加率の低い男性高齢者を対象に、介護予防、健康増進を図る目的で、ロコモティブシンドローム予防、口腔機能向上、栄養改善についての講座を開催。 体操講師による筋力トレーニングを中心に、八景島～野島公園までのウォーキングも取り入れ実施。	全5回 5月16日 6月20日 7月18日 8月15日 9月19日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康講座 「統合失調症について」	地域住民の精神疾患に対する理解を深めるため、協力医による講座を開催した。	2月27日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若返り塾	地域への介護予防普及啓発を目的として、「フレイル総論」「ロコモ予防」「栄養改善」「口腔機能向上」の講座を計3回実施。	全3回 10月17日 11月21日 12月19日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護リハビリ研究会開催 後方支援	持続的開催に向けた後方支援として、事務局業務を実施。開催通知配信や会場機器設定ほか資料の印刷などを実施。多職種連携の推進に繋がった。 年11回の開催となった。 11月は原宿ケアプラザ、深谷保野ケアプラザ巻く様々な現実を学んだ。	11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネット 戸塚 後方支援 戸塚区主任cm連絡会	定例会(研修会)を8回開催し普段のケアマネジメント業務に役立つ知識を得ることができた。 昨年度からケアマネット独自でパソコンを購入して、定例会申込みや資料を直接会員にメール配信しスムーズな運営を行うことができた。 主マネ連絡会から賛助幹事2名体制で参加し、幹事会も含め定例会に切れ目なく参加し連携を深めた。	8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー 事業所訪問事業	居宅介護支援事業所を訪問しケアマネジャーが抱える課題等を共有した。 ケアマネジャーと民生委員との研修会を開催し、資質向上の支援を行った。引き続き事業所訪問を行い、地域のケアマネジャーと良好な関係を築く。	定期的

令和6年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療連携研修 戸塚区主任cm連絡会	戸塚区在宅医療相談室と共催で、戸塚区内ケアマネジャーを対象に研修会を開催。内容はR23年度に短時間の講和（医療機関とケアマネジャーの有効な連携方法）を頂き、好評であった西横浜国際総合病院患者支援センター内田MSWから、さらにバージョンアップされた内容の「社会保障と医療」についての講義を開催した。「社会保障と医療」をテーマに「居宅介護で役立つエッセンス」と称して、社会保障制度や、病院機能についての説明。医療と介護の専門職としての役割と有効な連携についての提案。グループワークでは、困難ケースに関して、俯瞰的視点や情報収集と分析、アセスメントに関する検討を行い、連携ポイントを確認することができた。	9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅主マネ研修 戸塚区主任cm連絡会	戸塚区内の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーを対象に「ケアマネ未来予想図」人生100年時代を見据えてケアマネジャーはどうあるべきか、をテーマに、「介護の未来」阿部充宏氏を講師に迎え開催した。主任ケアマネジャーに求められるあるべき姿を社会情勢、2025問題、2024年度介護保険法改正等を交え話してもらった。	12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘルパネット 後方支援 戸塚区主任cm連絡会	連絡会から担当者を2名体制にしヘルパーネットとの連携を深めた。 幹事会では研修会の講師選択や内容について助言を行った。活動を活発化したいという幹事会の趣旨を理解し、チラシの作成の助言、それそのの包括エリアの事業所への配布の支援など、後方支援を行った。 幹事の退職や事業所閉鎖等による人材不足が課題として残っている。	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅介護支援事業所連絡会・研修会	居宅介護支援事業所を訪問しケアマネジャーが抱える課題等を共有した。 ケアマネジャーと民生委員との研修会を開催し、協力医による「精神障害疾患研修会」についての研修とインフォーマルサービス（介護タクシーアプリ）の活用について情報共有した。引き続き事業所訪問を行い、地域のケアマネジャーと良好な関係を築く。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほーめっと 後方支援 戸塚区主任cm連絡会事業	今年度は例年に比べ、多職種交流会や、疾患別医療介護連携事業の研修など、研修量が多かった。特に多職種交流会の開催には多くの人数が集まったことで、顔の見える関係づくりを支援者間が求めている結果であることが確認できた。10月の「戸塚区の救急の現状」では消防署からの講義で、今の救急の現状を説明頂いた。	9回

令和6年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
知っ得講座（介護保険制度編）	地域住民を対象に、介護保険の目的や申請方法などの流れをわかりやすく伝え、いざというときに困らないよう概要を知っておいてもらうことを目的に、包括職員による講習会を開催した。	8月29日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
消費者被害防止講座	近年、特殊詐欺のほかに押し買いなど高齢者を狙う悪質業者による被害が増えていることもあり、講師を横浜市消費生活総合センター相談員に依頼した。住民に対し身近に被害が出ていることを認識してもらうことが目的。	10月30日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
おひとり様講座	外部講師に一般社団法人愛の会、主任ソーシャルワーカー岡江 晃児氏を招き、今後増加が予想される「おひとり様」となった場合の心の準備等について、講座を開催した。 おひとり様高齢者に対する社会資源（終身サポート事業等）にどのようなものがあるか、選択する際どのようなことに注意すべきかなどの知見を得られたことで、漠然とした不安感の払拭ができた。	3月27日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
（共催） H J トレーニング クラブ	介護予防講座「男の筋トレ」のOB会として、令和5年度より活動開始。 会との共催により、体操講師によるストレッチ・筋力トレーニングを中心とした運動を実施。	12回 毎月第3木曜日

令和6年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

(生活支援)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア登録研修会	元気な高齢者が地域の介護施設等でボランティア活動を行うことにより、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいづくり」を促進するとともにこれからの介護施設等の地域とのつながりの深まりや施設利用者の生活をより豊かにすること。登録研修会を行うとともに、近隣の高齢者ボランティアの受入施設の職員にも参加をして頂き、施設や具体的なボランティア活動について紹介してもらい、より身近に感じてもらえる働きかけを行う。	12月 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
令和6年度生活支援体制整備事業協議体【南戸塚台】	地域情報や課題の把握、地域づくりにおける意識の統一、新たなサービス創出が目的。地域交流サロンの開催に向けて、役割分担や実施方法について検討会を実施し、活動に新たな住民が参加するようになった。自治会も独自の取組を検討、実施した。	中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
令和6年度生活支援体制整備事業協議体【小雀ちよぼら】	地域情報や課題の把握、地域づくりにおける意識の統一、新たなサービス創出が目的。小雀町内会とハートケア横浜小雀、ケアプラザで検討会を実施予定。今年度中に1回程度。	中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
頑張るシニアの元気UP健康サロン	町内会（影取・東俣野）とともに、近隣施設や事業者等の協力を得ながら、健康講座とサロンを開催する。定期的に外出する機会を確保し、健康に関する講座を実施。 【テーマ】知っておこう自分の身体、地域ケアプラザの役割・介護保険の申請について、薬の基礎知識と薬局の活用方法、楽しく食べて健康に、お医者さんとの話し方にはコツがある、気持ちのいいスタイル実践編 ※令和6年度もサロン活動はけいあいの郷・影取で行い、介護予防運動は影取町内会館で実施した。	・毎月 第3月曜日午前 サロン活動 ・毎月 第1, 第3月曜日午後 介護予防運動実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
森のカフェこすずめ	小雀町内会は町内会活動や敬友会活動が活発に行われており、他の活動も町内会役員が活動を支援されている。現在の活動に加え、今まで実施していなかったカフェを行い、地域活動に参加されていなかった方々の掘り起こしを行う目的で開催してきたが、参加者が少ない為に小雀文庫と共同開催を続けている。	4月15日～3月15日 9回

令和6年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

(生活支援)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
令和6年度 生活支援交流 会・居宅介護事 業所連絡会	地域のケアマネジャーや民生委員、主任児童員を対象に『認知症の初期症状への対応』講座を行いケアマネジャーと民生委員との顔の見える関係作りを行った。	11月9日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 情報交換会	シニアボランティア登録研修会終了者及び施設見学会参加者のOB会として、ボランティア活動を継続するための意見交換会。	中止

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
知っ得講座	少しでも安心した老後を迎えることを大きな目的とし、知っておくと役に立つ情報を講座として開催する。介護保険制度について、地域へ出て開催した。	影取町と原宿で 開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者ボラン ティア受入施設 連絡会	ボランティアの受入体制や活動状況、活動団体等について情報交換・共有を行い、ボランティア活動等を通して施設として行っている取り組みを共有する。また、登録研修会を通して地域の方々に発信していく。	12月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
携帯電話講座 【スマホをお持ちでない方向け】	様々な情報がスマホを通して得られる時代の中で、高齢者の皆様に向けて、まずはスマホに慣れて頂く機会をつくる。スマホを購入したが使い方が解らず、不慣れな方向けに少人数で基本的な使い方をお伝えする。月に1回程度実施予定であったが、共催相手の都合等で開催に至らず。	中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
携帯電話講座 【スマホ初心者向け】	様々な情報がスマホを通して得られる時代の中で、高齢者の皆様に向けて、まずはスマホに慣れて頂く機会をつくる。スマホを購入したが使い方が解らず、不慣れな方向けに少人数で基本的な使い方をお伝えする。月に1回程度実施予定であったが、共催相手の都合等で開催に至らず。	中止

令和6年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

(生活支援)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お医者さんとの 上手な話し方	お医者さんと上手に話をするコツについても検討して来たが医師と会場の予定が合わず中止した。	中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
令和6年度 生活支援体制整備 事業協議体 【ぐるーぷちえ のわ】	ぐるーぷちえのわが行っている活動をより地域に根差したものにしていきたい。具体的にはプログラムの検討や活動の周知。令和5年度のサービスB補助事業申請に向けて適宜検討会を実施した。	中止

〈別表 5〉

地域包括支援センター 令和6年度相談内容の傾向

以下に直近5年間（令和2年度～令和6年度）の相談件数および相談内容の推移を掲載します。

今年度の特徴として、次のようなことが挙げられます。

- ・相談対象者（属性）のうち、認知症および高齢者のみの世帯件数が増え、独居の件数が減少した。
- ・相談内容については、介護保険についての相談件数が例年通り圧倒的に多いが、今年度は認知症に関する相談が増え、それに連動するように成年後見に関する相談数に増加がみられた。

令和2年度から令和6年度の相談内容の推移（抜粋）

	相談 件数	対象者			相談者			相談内容					
		認知症	独居	高齢者 世帯	本人	家族	民生 委員	介護 保険	認知症	入所 入院	日常 生活	成年 後見	虐待
R2年度	1794	399	636	530	577	931	61	1205	93	94	568	75	26
R3年度	1754	363	590	640	571	913	65	1281	109	87	677	40	11
R4年度	1916	363	687	664	525	1075	92	1409	85	127	530	27	35
R5年度	1808	386	688	533	511	1013	41	1368	80	126	448	41	36
R6年度	1920	473	667	688	516	1036	55	1484	139	138	695	85	22

コロナ禍による外出制限が解除され二年以上経過しましたが、高齢者には引き続きその影響が残り、介護保険サービスによる機能訓練などを希望する相談が継続的にあります。

令和6年度 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント実績

【単位：人】

《給付管理合計者数》					
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
要支援1	251	251	241	244	
要支援2	408	387	403	422	
合計	659	638	644	666	2,607
昨年度合計 (比較データ)	666	651	654	641	2,612

【単位：人】

《新規契約合計者数》					
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
要支援1	15	7	12	9	
要支援2	11	13	9	11	
合計	26	20	21	20	87
昨年度合計 (比較データ)	23	18	16	18	75

<別表 7>

令和 6 年度 居宅介護支援事業実績

《令和 6 年度利用者契約者数（四半期別）》

【単位：人】

	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	合 計	前年比
要支援 1・2	1 6 4	1 5 8	1 5 4	1 5 1	6 2 7	+ 1 2 2
要介護 1	1 3 8	1 3 9	1 3 1	1 2 9	5 3 7	+ 1 7
要介護 2	1 6 7	1 7 9	1 7 2	1 6 2	6 8 0	+ 9 7
要介護 3	6 4	6 1	6 5	5 8	2 4 8	+ 6 0
要介護 4	3 6	3 2	3 5	3 6	1 3 9	- 2 3
要介護 5	1 1	1 7	2 1	2 5	7 4	+ 2 0
合 計	5 8 0	5 8 6	5 7 8	5 6 1	2 3 0 5	+ 2 9 3

《介護認定調査業務》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
8	1	6	7	7	7
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
3	1 0	1 1	9	1 1	7

<別表 8>

●通所介護事業実績

《令和 6 年度利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】 【単位：％】

	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	合計	前年比
要介護 1	5 0 7	4 5 3	4 4 0	4 3 1	1, 8 3 1	121%
要介護 2	8 8 1	8 0 6	8 2 9	7 1 7	3, 2 3 3	99.9%
要介護 3	4 4 5	4 1 9	4 3 9	3 9 6	1, 6 9 9	188%
要介護 4	1 5 7	9 8	1 4 1	9 4	4 9 0	57.3%
要介護 5	1 6 4	1 6 6	1 8 1	2 2 8	7 3 9	108%
合計	2, 1 5 4	1, 9 4 2	2, 0 3 0	1, 8 6 9	7, 9 9 2	111%

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
7 1 2	7 5 1	6 9 1	7 2 5	6 6 7	5 5 0
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
7 0 8	7 0 0	6 2 2	6 3 4	5 9 9	6 3 3

●横浜市通所介護相当サービス実績

《令和 6 年度利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】 【単位：％】

	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	合計	前年比
要支援 1	6 1	5 9	6 5	5 6	2 4 1	94%
要支援 2	1 3 1	1 3 8	1 4 2	1 4 8	5 5 9	131%
合計	1 9 2	1 9 7	2 0 7	2 0 4	8 0 0	117%

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
6 4	6 6	6 2	7 4	6 3	6 0
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
6 9	6 8	7 0	6 7	6 6	7 1

<別表 8>

●出席者状況（4 半期毎）

項目／月	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	合計
定員数 (総合含)	2,730	2,765	2,695	2,590	10,780 (人)
出席者 (通所) (総合含)	2,154	1,942	2,030	1,866	7,992 (人)
	192	197	207	204	800 (人)
出席率 (総合含)	85	77	83	79.9	81.5%
入浴 (通所) (総合含)	1,670	1,616	1,709	1,540	6,535 (人)
	135	133	152	154	574 (人)
食事 (通所) (総合含)	2,111	1,927	1,983	1,824	7,845 (食)
	192	197	207	204	800 (食)
1 日平均人数 (総合含)	30	27	29	27.9	28.5 (人) (年平均)
稼動日数	78	79	77	74	308 (日)

< 以上 >

公益事業 原宿地域ケアプラザ拠点区分 資金収支計算書
(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	13,291,000	13,517,200	△ 226,200	
	居宅介護支援介護料収入	6,761,000	6,930,219	△ 169,219	
	介護予防支援介護料収入	6,761,000	6,930,219	△ 169,219	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	6,480,000	6,516,981	△ 36,981	
	事業費収入	6,480,000	6,516,981	△ 36,981	
	その他の事業収入	50,000	70,000	△ 20,000	
	補助金事業収入(公費)	50,000	70,000	△ 20,000	
	地域包括支援センター収入	60,021,000	59,610,091	410,909	
	地域包括支援センター収入	59,922,000	59,510,541	411,459	
	地域包括支援センター収入	55,932,000	55,520,541	411,459	
	事業区分間負担金収入	3,990,000	3,990,000	0	
	その他の事業収入	99,000	99,550	△ 550	
	受託事業収入	99,000	99,550	△ 550	
	経常経費寄付金収入	36,000	36,000	0	
	寄附物品収入	36,000	36,000	0	
	その他の収入	136,000	174,296	△ 38,296	
	受入研修費収入	15,000	15,000	0	
	雑収入	121,000	159,296	△ 38,296	
	その他雑収入	121,000	159,296	△ 38,296	
	事業活動収入計(1)	73,484,000	73,337,587	146,413	
	支出				
	人件費支出	41,352,000	41,356,151	△ 4,151	
	職員給料支出	23,905,000	23,939,192	△ 34,192	
	職員賞与支出	5,970,000	5,968,308	1,692	
	非常勤職員給与支出	5,276,000	5,255,642	20,358	
	非常勤職員給与支出	5,276,000	5,255,642	20,358	
	退職給付支出	888,000	887,250	750	
	法定福利費支出	5,313,000	5,305,759	7,241	
	事業費支出	6,763,000	6,114,643	648,357	
	水道光熱費支出	5,889,000	5,239,271	649,729	
	保険料支出	3,000	2,825	175	
	賃借料支出	68,000	68,258	△ 258	
	雑支出	803,000	804,289	△ 1,289	
	事務費支出	21,355,000	21,612,642	△ 257,642	
	福利厚生費支出	120,000	117,916	2,084	
	旅費交通費支出	60,000	54,230	5,770	
	研修研究費支出	33,000	30,180	2,820	
	事務消耗品費支出	643,000	632,228	10,772	
	印刷製本費支出	177,000	192,276	△ 15,276	
	修繕費支出	1,015,000	1,012,695	2,305	
	通信運搬費支出	787,000	709,320	77,680	
	広報費支出	97,000	97,236	△ 236	
	業務委託費支出	12,359,000	12,652,670	△ 293,670	
	業務委託費支出	10,003,000	10,276,075	△ 273,075	
	事業区分間業務委託費支出	2,174,000	2,194,945	△ 20,945	
	拠点区分間業務委託費支出	182,000	181,650	350	
	手数料支出	330,000	355,013	△ 25,013	
	租税公課支出	1,247,000	1,296,491	△ 49,491	
	保守料支出	1,871,000	1,848,661	22,339	
	渉外費支出	5,000	4,800	200	
	諸会費支出	29,000	28,542	458	
	雑支出	2,582,000	2,580,384	1,616	
	事業活動支出計(2)	69,470,000	69,083,436	386,564	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,014,000	4,254,151	△ 240,151	
施設整備等による収支	収入				
	固定資産売却収入		8,430	△ 8,430	
	その他の固定資産売却収入		8,430	△ 8,430	
	施設整備等収入計(4)		8,430	△ 8,430	
	支出				
	固定資産取得支出	572,000	571,450	550	
施設整備等による収支	車輛運搬具取得支出	131,000	130,900	100	
	器具及び備品取得支出	441,000	440,550	450	
	施設整備等支出計(5)	572,000	571,450	550	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 572,000	△ 563,020	△ 8,980	

その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	積立資産支出	599,000	597,310	1,690	
	退職給付引当資産支出	599,000	597,310	1,690	
	事業区分間繰入金支出	648,000	647,235	765	
	その他の活動支出計(8)	1,247,000	1,244,545	2,455	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 1,247,000	△ 1,244,545	△ 2,455	
	予備費支出(10)		—		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,195,000	2,446,586	△ 251,586	
前期末支払資金残高(12)		8,989,402	8,989,402	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		11,184,402	11,435,988	△ 251,586	

公益事業 原宿地域ケアプラザ拠点区分 事業活動計算書
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	介護保険事業収益	13,517,200	13,339,032	178,168
	居宅介護支援介護料収益	6,930,219	7,273,008	△ 342,789
	介護予防支援介護料収益	6,930,219	7,273,008	△ 342,789
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	6,516,981	6,024,024	492,957
	事業費収益	6,516,981	6,024,024	492,957
	その他の事業収益	70,000	42,000	28,000
	補助金事業収益(公費)	70,000	42,000	28,000
	地域包括支援センター収益	59,610,091	57,490,987	2,119,104
	地域包括支援センター収益	59,510,541	57,391,437	2,119,104
	地域包括支援センター収益	55,520,541	53,401,437	2,119,104
	事業区分間負担金収益	3,990,000	3,990,000	0
	その他の事業収益	99,550	99,550	0
	受託事業収益(公費)	99,550	99,550	0
	経常経費寄附金収益	36,000	33,510	2,490
	寄附金収益		33,510	△ 33,510
	寄附物品収益	36,000		36,000
サービス活動収益計(1)		73,163,291	70,863,529	2,299,762
サービス活動増減の部	人件費	42,033,461	42,772,429	△ 738,968
	職員給料	23,939,192	22,513,662	1,425,530
	職員賞与	4,049,308	3,491,207	558,101
	賞与引当金繰入	2,295,000	2,215,000	80,000
	非常勤職員給与	5,255,642	7,818,172	△ 2,562,530
	非常勤職員給与	5,255,642	7,818,172	△ 2,562,530
	退職給付費用	1,484,560	1,565,700	△ 81,140
	法定福利費	5,009,759	5,168,688	△ 158,929
	事業費	6,114,643	5,597,302	517,341
	水道光熱費	5,239,271	4,687,609	551,662
	保険料	2,825	40,074	△ 37,249
	賃借料	68,258	85,356	△ 17,098
	車輛費		11,637	△ 11,637
	雑費	804,289	772,626	31,663
	事務費	21,612,642	18,944,860	2,667,782
	福利厚生費	117,916	124,263	△ 6,347
	旅費交通費	54,230	55,560	△ 1,330
	研修研究費	30,180	19,500	10,680
	事務消耗品費	632,228	455,545	176,683
	印刷製本費	192,276	204,482	△ 12,206
	修繕費	1,012,695	437,206	575,489
	通信運搬費	709,320	827,151	△ 117,831
	広報費	97,236	230,886	△ 133,650
	業務委託費	12,652,670	12,416,855	235,815
	業務委託費	10,276,075	10,618,620	△ 342,545
	事業区分間業務委託費	2,194,945	1,618,030	576,915
	拠点区分間業務委託費	181,650	180,205	1,445
	手数料	355,013	291,091	63,922
	租税公課	1,296,491	1,154,200	142,291
	保守料	1,848,661	1,861,369	△ 12,708
	渉外費	4,800	4,500	300
	諸会費	28,542	27,542	1,000
	雑費	2,580,384	834,710	1,745,674
	減価償却費	299,105	188,989	110,116
サービス活動費用計(2)		70,059,851	67,503,580	2,556,271
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		3,103,440	3,359,949	△ 256,509

サービス活動外増減の部	収益	その他のサービス活動外収益	174,296	178,208	△ 3,912
		受入研修費収益	15,000		15,000
		雑収益	159,296	178,208	△ 18,912
		その他雑収益	159,296	178,208	△ 18,912
		サービス活動外収益計(4)	174,296	178,208	△ 3,912
サービス活動外増減の部	費用				
		サービス活動外費用計(5)			
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	174,296	178,208	△ 3,912
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	3,277,736	3,538,157	△ 260,421
特別増減の部	収益				
		特別収益計(8)			
	費用	事業区分間繰入金費用	647,235		647,235
		特別費用計(9)	647,235		647,235
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 647,235		△ 647,235
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	2,630,501	3,538,157	△ 907,656
繰越		前期繰越活動増減差額(12)	7,563,758	4,025,601	3,538,157
活動増減差額の部		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	10,194,259	7,563,758	2,630,501
		基本金取崩額(14)			
		その他の積立金取崩額(15)			
		その他の積立金積立額(16)			
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	10,194,259	7,563,758	2,630,501

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	19,408,514	14,602,018	4,806,496	流動負債	10,267,526	7,827,616	2,439,910
現金預金	17,022,946	12,420,623	4,602,323	事業未払金	6,298,761	4,164,101	2,134,660
事業未収金	2,325,546	2,171,227	154,319	事業区分間借入金	1,647,815	291,850	1,355,965
未収金	1,090	1,236	△ 146	拠点区分間借入金	25,950	38,565	△ 12,615
未収補助金	50,000		50,000	未払消費税等	0	1,118,100	△ 1,118,100
前払費用	8,932	8,932	0	賞与引当金	2,295,000	2,215,000	80,000
固定資産	10,873,587	10,042,042	831,545	固定負債	9,820,316	9,252,686	567,630
基本財産				退職給付引当金	9,820,316	9,252,686	567,630
その他の固定資産	10,873,587	10,042,042	831,545	負債の部合計	20,087,842	17,080,302	3,007,540
車輛運搬具	76,361	2	76,359	純資産の部			
器具及び備品	976,910	780,924	195,986	基本金			
退職給付引当資産	9,820,316	9,252,686	567,630	国庫補助金等特別積立金			
その他の固定資産	0	8,430	△ 8,430	その他の積立金			
				次期繰越活動増減差額	10,194,259	7,563,758	2,630,501
				(うち当期活動増減差額)	2,630,501	3,538,157	△ 907,656
				純資産の部合計	10,194,259	7,563,758	2,630,501
資産の部合計	30,282,101	24,644,060	5,638,041	負債及び純資産の部合計	30,282,101	24,644,060	5,638,041

介護保険施設 原宿地域ケアプラザ拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	介護保険事業収入	130,242,000	131,237,419	△ 995,419	
	居宅介護料収入	83,727,000	84,240,957	△ 513,957	
	(介護報酬収入)	73,840,000	74,383,353	△ 543,353	
	介護報酬収入	73,840,000	74,383,353	△ 543,353	
	(利用者負担金収入)	9,887,000	9,857,604	29,396	
	介護負担金収入(公費)	958,000	1,000,772	△ 42,772	
	介護負担金収入(一般)	8,929,000	8,856,832	72,168	
	居宅介護支援介護料収入	30,033,000	29,889,838	143,162	
	居宅介護支援介護料収入	30,033,000	29,889,838	143,162	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	4,550,000	4,521,291	28,709	
	事業費収入	3,924,000	3,893,230	30,770	
	事業負担金収入(公費)	30,000	35,922	△ 5,922	
	事業負担金収入(一般)	596,000	592,139	3,861	
	利用者等利用料収入	8,483,000	8,491,155	△ 8,155	
	食費収入(一般)	6,760,000	6,880,800	△ 120,800	
	その他の利用料収入	1,723,000	1,610,355	112,645	
	その他の事業収入	3,449,000	4,094,178	△ 645,178	
	補助金事業収入(公費)	285,000	819,133	△ 534,133	
	受託事業収入(公費)	369,000	460,350	△ 91,350	
	事業区分間受託収入	2,795,000	2,814,695	△ 19,695	
	受取利息配当金収入	12,000	18,418	△ 6,418	
	その他の収入	1,001,000	964,700	36,300	
	受入研修費収入	5,000	5,000	0	
	利用者等外給食費収入	936,000	894,650	41,350	
	雑収入	60,000	65,050	△ 5,050	
	施設整備使用料収入		60	△ 60	
	その他雑収入	60,000	64,990	△ 4,990	
事業活動収入計(1)		131,255,000	132,220,537	△ 965,537	
事業活動による収支	人件費支出	95,581,000	95,456,682	124,318	
	職員給料支出	41,182,000	41,092,625	89,375	
	職員賞与支出	10,566,000	10,564,819	1,181	
	非常勤職員給与支出	30,237,000	30,093,638	143,362	
	非常勤職員給与支出	30,237,000	30,093,638	143,362	
	派遣職員費支出	20,000	20,000	0	
	退職給付支出	1,981,000	1,979,250	1,750	
	法定福利費支出	11,595,000	11,706,350	△ 111,350	
	事業費支出	15,773,000	15,574,160	198,840	
	給食費支出	7,214,000	7,073,381	140,619	
	介護用品費支出	44,000	27,120	16,880	
	保健衛生費支出	48,000	33,528	14,472	
	被服費支出	10,000		10,000	
	教養娯楽費支出	130,000	107,603	22,397	
	水道光熱費支出	4,634,000	4,695,851	△ 61,851	
	消耗器具備品費支出	765,000	714,805	50,195	
	保険料支出	954,000	971,927	△ 17,927	
	賃借料支出	327,000	326,980	20	
	車輛費支出	1,647,000	1,622,965	24,035	
	事務費支出	17,788,000	17,540,166	247,834	
	福利厚生費支出	390,000	388,956	1,044	
	職員被服費支出	72,000	71,548	452	
	旅費交通費支出	22,000	14,230	7,770	
	研修研究費支出	187,000	163,120	23,880	
	事務消耗品費支出	468,000	398,373	69,627	
	印刷製本費支出	173,000	189,422	△ 16,422	
	修繕費支出	2,272,000	2,105,265	166,735	
	通信運搬費支出	817,000	779,188	37,812	
	広報費支出	324,000	322,739	1,261	
	業務委託費支出	4,079,000	4,077,800	1,200	
	業務委託費支出	1,069,000	1,067,800	1,200	
	拠点区分間業務委託費支出	3,010,000	3,010,000	0	
	手数料支出	1,465,000	1,474,400	△ 9,400	
	土地・建物賃借料支出	5,099,000	5,098,800	200	
	土地・建物賃借料支出	1,109,000	1,108,800	200	
	事業区分間土地・建物賃借料支出	3,990,000	3,990,000	0	
	租税公課支出	198,000	207,941	△ 9,941	
	保守料支出	1,684,000	1,714,180	△ 30,180	
	渉外費支出	20,000	18,902	1,098	
	諸会費支出	40,000	39,542	458	
	雑支出	478,000	475,760	2,240	

施設整備等による収支	利用者負担軽減額	10,000		10,000	
		936,000	894,650	41,350	
	その他の支出	936,000	894,650	41,350	
	利用者等外給食費支出	936,000	894,650	41,350	
	事業活動支出計(2)	130,088,000	129,465,658	622,342	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,167,000	2,754,879	△ 1,587,879	
	収入	施設整備等補助金収入	2,450,000	2,450,000	0
		施設整備等補助金収入	2,450,000	2,450,000	0
		固定資産売却収入	20,000	20,010	△ 10
		車両運搬具売却収入	10,000	10,000	0
		その他の固定資産売却収入	10,000	10,010	△ 10
		施設整備等収入計(4)	2,470,000	2,470,010	△ 10
	支出	固定資産取得支出	7,294,000	7,281,895	12,105
		車両運搬具取得支出	5,474,000	5,466,085	7,915
		器具及び備品取得支出	1,659,000	1,658,200	800
		ソフトウェア取得支出	143,000	143,000	0
		その他の固定資産取得支出	18,000	14,610	3,390
		施設整備等支出計(5)	7,294,000	7,281,895	12,105
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,824,000	△ 4,811,885	△ 12,115
	その他の活動収入	事業区分間繰入金収入	648,000	647,235	765
		その他の活動収入計(7)	648,000	647,235	765
	その他の活動支出	積立資産支出	954,000	965,130	△ 11,130
		退職給付引当資産支出	954,000	965,130	△ 11,130
		その他の活動支出計(8)	954,000	965,130	△ 11,130
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 306,000	△ 317,895	11,895
		予備費支出(10)		—	
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 3,963,000	△ 2,374,901	△ 1,588,099
前期末支払資金残高(12)		38,073,653	38,073,653	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		34,110,653	35,698,752	△ 1,588,099	

介護保険施設 原宿地域ケアプラザ拠点区分 事業活動計算書
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	介護保険事業収益	131,237,419	119,211,474	12,025,945
	居宅介護料収益	84,240,957	76,217,752	8,023,205
	(介護報酬収益)	74,383,353	67,484,449	6,898,904
	介護報酬収益	74,383,353	67,484,449	6,898,904
	(利用者負担金収益)	9,857,604	8,733,303	1,124,301
	介護負担金収益(公費)	1,000,772	836,752	164,020
	介護負担金収益(一般)	8,856,832	7,896,551	960,281
	地域密着型介護料収益		1,852,905	△ 1,852,905
	(介護報酬収益)		1,562,947	△ 1,562,947
	介護報酬収益		1,562,947	△ 1,562,947
	(利用者負担金収益)		289,958	△ 289,958
	介護負担金収益(一般)		289,958	△ 289,958
	居宅介護支援介護料収益	29,889,838	26,457,761	3,432,077
	居宅介護支援介護料収益	29,889,838	26,457,761	3,432,077
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	4,521,291	3,701,028	820,263
	事業費収益	3,893,230	3,271,368	621,862
	事業負担金収益(公費)	35,922	12,534	23,388
	事業負担金収益(一般)	592,139	417,126	175,013
	利用者等利用料収益	8,491,155	7,350,636	1,140,519
	食費収益(一般)	6,880,800	6,357,600	523,200
	その他の利用料収益	1,610,355	993,036	617,319
	その他の事業収益	4,094,178	3,631,392	462,786
	補助金事業収益(公費)	819,133	740,017	79,116
	受託事業収益(公費)	460,350	509,850	△ 49,500
	事業区分間受託収益	2,814,695	2,381,525	433,170
	経常経費寄附金収益		3,000	△ 3,000
	寄附金収益		3,000	△ 3,000
サービス活動収益計(1)		131,237,419	119,214,474	12,022,945
サービス活動増減の部	人件費	96,404,812	95,775,627	629,185
	職員給料	41,092,625	39,198,309	1,894,316
	職員賞与	7,031,819	6,605,619	426,200
	賞与引当金繰入	4,060,000	4,077,000	△ 17,000
	非常勤職員給与	30,093,638	31,674,201	△ 1,580,563
	非常勤職員給与	30,093,638	31,674,201	△ 1,580,563
	派遣職員費	20,000		20,000
	退職給付費用	2,944,380	2,904,040	40,340
	法定福利費	11,162,350	11,316,458	△ 154,108
	事業費	15,574,160	13,661,567	1,912,593
	給食費	7,073,381	5,973,744	1,099,637
	給食費	7,073,381	5,973,744	1,099,637
	介護用品費	27,120	14,041	13,079
	保健衛生費	33,528	39,108	△ 5,580
	教養娯楽費	107,603	102,533	5,070
	水道光熱費	4,695,851	4,252,706	443,145
	消耗器具備品費	714,805	555,886	158,919
	保険料	971,927	977,057	△ 5,130
	賃借料	326,980	357,282	△ 30,302
	車輛費	1,622,965	1,389,210	233,755
	事務費	17,645,370	14,209,177	3,436,193
	福利厚生費	388,956	425,848	△ 36,892
	職員被服費	71,548	980	70,568
	旅費交通費	14,230	13,350	880
	研修研究費	163,120	43,170	119,950
	事務消耗品費	398,373	552,102	△ 153,729
	印刷製本費	189,422	191,584	△ 2,162
	修繕費	2,105,265	776,820	1,328,445
	通信運搬費	779,188	684,668	94,520
	広報費	322,739	230,889	91,850
	業務委託費	4,077,800	3,147,800	930,000
	業務委託費	1,067,800	1,067,800	0
	拠点区分間業務委託費	3,010,000	2,080,000	930,000
	手数料	1,474,400	427,646	1,046,754
	土地・建物賃借料	5,098,800	5,215,754	△ 116,954
	土地・建物賃借料	1,108,800	1,225,754	△ 116,954
	事業区分間土地・建物賃借料	3,990,000	3,990,000	0
	租税公課	207,941	204,800	3,141
	保守料	1,819,384	1,847,088	△ 27,704

		渉外費	18,902	14,336	4,566
		諸会費	39,542	48,542	△ 9,000
		雑費	475,760	383,800	91,960
		減価償却費	2,585,874	2,248,638	337,236
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 75,243	△ 41,148	△ 34,095
		徴収不能額		3,480	△ 3,480
		サービス活動費用計(2)	132,134,973	125,857,341	6,277,632
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 897,554	△ 6,642,867	5,745,313
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	18,418	582	17,836
		その他のサービス活動外収益	964,700	940,255	24,445
		受入研修費収益	5,000	6,000	△ 1,000
		利用者等外給食収益	894,650	915,850	△ 21,200
		雑収益	65,050	18,405	46,645
		施設整備使用料収益	60	130	△ 70
		その他雑収益	64,990	18,275	46,715
		サービス活動外収益計(4)	983,118	940,837	42,281
	費用	その他のサービス活動外費用	894,650	915,850	△ 21,200
		利用者等外給食費	894,650	915,850	△ 21,200
		サービス活動外費用計(5)	894,650	915,850	△ 21,200
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	88,468	24,987	63,481
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 809,086	△ 6,617,880	5,808,794
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	2,450,000		2,450,000
		施設整備等補助金収益	2,450,000		2,450,000
		固定資産売却益	9,999		9,999
		車輛運搬具売却益	9,999		9,999
		事業区分間繰入金収益	647,235		647,235
		特別収益計(8)	3,107,234		3,107,234
	費用	固定資産売却損・処分損	8	2	6
		器具及び備品売却損・処分損	8	2	6
		国庫補助金等特別積立金積立額	2,450,000		2,450,000
		特別費用計(9)	2,450,008	2	2,450,006
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	657,226	△ 2	657,228
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 151,860	△ 6,617,882	6,466,022
繰越		前期繰越活動増減差額(12)	41,455,562	47,500,444	△ 6,044,882
活動		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	41,303,702	40,882,562	421,140
活動増減差額の部		基本金取崩額(14)			
		その他の積立金取崩額(15)		573,000	△ 573,000
		施設整備等積立金取崩額		573,000	△ 573,000
		その他の積立金積立額(16)			
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	41,303,702	41,455,562	△ 151,860

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	44,799,497	49,976,067	△ 5,176,570	流動負債	13,160,745	15,979,414	△ 2,818,669
現金預金	23,371,344	28,395,895	△ 5,024,551	事業未払金	8,919,705	10,715,989	△ 1,796,284
事業未収金	20,184,083	20,472,343	△ 288,260	その他の未払金	71,875		71,875
未収金	106,582	67,950	38,632	預り金	5,665		5,665
未収補助金	638,200	98,016	540,184	職員預り金	0	1,078,225	△ 1,078,225
前払費用	60,918	492,348	△ 431,430	拠点区分間借入金	103,500		103,500
事業区分間貸付金	438,370	449,515	△ 11,145	未払消費税等	0	108,200	△ 108,200
				賞与引当金	4,060,000	4,077,000	△ 17,000
固定資産	31,989,208	26,443,280	5,545,928	固定負債	11,403,079	10,437,949	965,130
基本財産				退職給付引当金	11,403,079	10,437,949	965,130
その他の固定資産	31,989,208	26,443,280	5,545,928	負債の部合計	24,563,824	26,417,363	△ 1,853,539
建物	36,312	60,370	△ 24,058	純資産の部			
機械及び装置	2	2	0	基本金			
車輛運搬具	7,117,929	2,575,039	4,542,890	国庫補助金等特別積立金	2,477,139	102,382	2,374,757
器具及び備品	3,507,153	2,906,877	600,276	その他の積立金	8,444,040	8,444,040	0
ソフトウェア	966,443	1,404,149	△ 437,706	人件費積立金(介護)	8,017,040	8,017,040	0
退職給付引当資産	11,403,079	10,437,949	965,130	施設設備等積立金(介護)	427,000	427,000	0
人件費積立資産(介護)	8,017,040	8,017,040	0	次期繰越活動増減差額	41,303,702	41,455,562	△ 151,860
施設整備等積立資産(介護)	427,000	427,000	0	(うち当期活動増減差額)	△ 151,860	△ 6,617,882	6,466,022
差入保証金	168,000	168,000	0				
長期前払費用	263,010	368,214	△ 105,204				
その他の固定資産	83,240	78,640	4,600	純資産の部合計	52,224,881	50,001,984	2,222,897
資産の部合計	76,788,705	76,419,347	369,358	負債及び純資産の部合計	76,788,705	76,419,347	369,358